

館報 47



令和6年度（2024年度）
山口県立山口博物館

は じ め に

当館の歴史は、明治45年(1912年)に開設した防長教育博物館まで遡ります。大正6年(1917年)に山口県立教育博物館として県に移管され、その後、収蔵資料を守るための休館や戦後の改編を経て、昭和25年(1950年)に山口県立山口博物館が発足しました。昭和42年(1967年)には新館が開館し、人文・自然両部門をあわせ有する総合博物館として現在に至っています。令和6年11月18日には、改正博物館法に基づく再登録を行ったところです。

県立の博物館としては全国でも最も長い歴史を誇り、「文化の継承と発展のために努める」、「総合博物館として活動する」、「豊かな心を育み人づくりに資する施設として貢献する」、「多彩な博物館活動を行う」、「改正博物館法の趣旨を踏まえた取組を展開する」の5つを基本方針として、37万点を超える資料を収蔵し、その保管、展示及び調査研究を行っています。

また、県民の皆様を対象に多彩な講座や教室を開設する「教育普及活動」、長期研修教員であるミュージアム・ティーチャー(MT)と学芸員とが連携して学校や地域の学習活動を支援する「博物館学校地域連携教育支援事業」等を積極的に展開しており、これらの活動は当館の特長であると自負しております。

令和6年度の事業を振り返りますと、夏季に開催した特別展「大解剖！からくりワールド」では、「からくり人形」や「ロボット」など体験型の展示を取り入れることで、科学技術の楽しさや面白さを知っていただく機会を提供しました。この展覧会の中では、本県の最大の強みとされている「ものづくり」に携わる人々や関連する企業等の活動を紹介しましたが、こうした展示内容が、子どもたちのふるさとを愛する心や技術継承の担い手になりたいという意識を育むことにつながればと思っております。

年度の後半には本館空調設備の大規模な改修による常設展示室の閉鎖もありましたが、県内の児童生徒が取り組んだ自然観察や実験、工夫を凝らして製作した用具など、優れた研究成果や作品を顕彰する「サイエンスやまぐち2024」や、企画展「やまぐち植物さんぽ【I】～植物って、すごい、おもしろい、ふしぎ！～」を開催することができました。

一方、「教育普及活動」では、昆虫教室、植物教室、地学教室、科学工作講座、歴史教室、天体観望会など延べ25講座を開催し、毎回多くの参加者に楽しんでいただくとともに、「博物館学校地域連携教育支援事業」では、学校や公民館など地域の団体への出前授業、当館での社会見学や職場体験、オンラインも活用した館内授業などを実施し、延べ475団体、15,623人の方々にご利用いただいております。

これからも、改正博物館法の趣旨を踏まえ、他の博物館はもとより、市町なども含めた多様な主体と連携・協力しながら地域の活力の向上に寄与するとともに、県民の皆様のニーズを踏まえた博物館活動に積極的に取り組んでまいりますので、皆様のご来館と一層のご利用を心からお待ちしております。

令和7年9月

山口県立山口博物館

館長 西村和彦

目 次

I	沿 革	1
II	管 理 運 営 概 要	4
	1 組 織	4
	2 敷地・建物の概要	5
III	令和6年度利用状況及び年次推移	8
IV	令和6年度事業概要	14
	1 資料の収集・保管	14
	2 資 料 展 示	18
	3 調 査 ・ 研 究	34
	4 教 育 普 及	38
	5 そ の 他	44
V	基本方針と令和7年度の事業概要	46

I 沿 革

- 明治41年 4月 皇太子殿下が行啓され、行啓日程の中で山口県教育品及び物産展覧会を御覧になられた。
- 明治41年10月 山口県教育会長が山口町長と大殿小学校旧校舎敷地建設使用契約を締結した。
- 明治45年 4月 皇太子行啓記念事業として、山口県教育会が大殿小学校旧校舎を補修して防長教育博物館を設置した。（展示物総計5,451点）
- 大正 3年 9月 巡回教育博物館活動を開始した。（吉敷郡宮野村ほか）
- 大正 4年10月 山口県立教育博物館建設費が県会で議決された。
- 大正 5年 1月 山口県教育会は代議員会で、大正 5年度限りで防長教育博物館を廃止し、図書、標本、機械、器具を山口県立教育博物館へ寄付することを決定した。
- 大正 6年 4月 山口県は大正天皇即位大典記念事業として山口県立教育博物館を設置、同年 8月19日で旧館を閉じ、9月23日現在地に新館を開館した。
- 大正15年 5月 皇太子殿下が行啓され、行啓日程の中で、御来館された。
- 昭和 2年 1月 大典記念山口県立教育博物館と改称された。
- 昭和 3年12月 皇太子殿下の行啓を記念した防長先賢堂が落成した。
- 昭和 7年 6月 特別室が竣工した。
- 昭和12年 5月 吉岡訓導銅像（制作者 保田龍門）、阿部校長銅像（制作者 河内山賢祐）の除幕式が行われた。
- （昭和18年11月供出）
- 昭和16年 9月 博物館前庭に赤道儀室（スライディングルーフ式）を建築、10cm屈折赤道儀を新設し日食観察を実施した。
- 昭和17年12月 山口道場門前から、枕流亭（維新の史蹟建造物）を本構内に移築した。
- 昭和20年 4月 第2次世界大戦の苛烈化のため、4月21日展観を中止、資料を疎開し博物館は休止した。
- 昭和21年 4月 山口県立教育博物館に山口県立科学教育研究所が設置された。
- 昭和22年 4月 山口県立科学教育研究所が山口県立科学博物館と改称された。
- 昭和23年 3月 第1回山口県科学振興展覧会を開催した。
- 昭和25年 7月 自然・人文両部門をあわせ有する総合博物館として教育博物館と科学博物館を統合して山口県立山口博物館が再発足した。
- 昭和27年 5月 山口県立山口博物館設置条例（昭和27年山口県条例第35号）が公布された。
- 昭和39年 3月 山口県博物館条例（昭和39年山口県条例第55号）が公布された。
- 昭和42年10月 建物の老朽化のため、鉄筋コンクリート建築に改築して10月1日開館し現在に至る。
（設計 坂倉準三）
- 維新100年記念開館特別展「近代国家へのあゆみ」を開催した。（入館者 179,526人）



山口県立教育博物館（大正 6年）



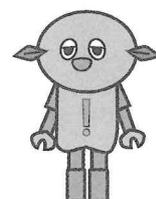
新館建設の様子



「近代国家へのあゆみ」開催

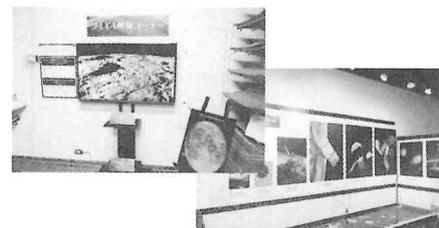
- 昭和43年 9月 D60型1号蒸気機関車を山口博物館構内に展示（無償貸借）
- 昭和62年10月 理工展示室N T Tコーナーを改装した。
- 昭和63年 3月 理工展示室中国電力コーナーを改装した。東側屋外階段を改築（鉄骨化）した。
- 平成元年 3月 屋外階段（建物正面）の撤去・新設工事を実施した。

平成2年3月	建物のイメージアップとパークロード周辺の建物との調和を図るため外壁（東側）をタイル張りに改修した。 理工展示資料を充実した（山口線運転シミュレータ、X線分析装置、真空凍結乾燥装置、アナモフォーシスほか）。 アスベスト除去工事（館長室、事務室、学芸員室、特別収蔵庫）、歴史展示室の常設ケース更新を実施した。
平成3年3月	前年度に引き続き理工展示資料を充実した（展示ロボット、教育用ロボット、多関節形ロボット、電気の原理模型ほか）。 生物展示ケースの常設ケースを更新した。
平成4年3月	博物館裏山（春日山）の公園整備にあわせ建物のイメージアップと周辺との調和を図るため、外壁（西側）をタイル張りにするとともに非常階段（西側）の改築も行った。 生物展示室、地学展示室の常設ケースを更新した。先賢堂の改修を実施した。
平成5年3月	20cm屈折赤道儀修理、地学展示室の常設ケース更新（常設ケース更新事業終了）
平成6年2月	受電設備の老朽、劣化にともなう電気設備の改修
平成7年4月	旧教育研修所第2研修部が所属替により山口博物館の管理となる。
〃 7月	高齢者及び身体障害者安全対策設備（階段手摺り設置、車椅子設置、車椅子用便所に改修、車椅子階段昇降機設置（展示室））
平成8年4月	別館（旧教育研修所第2研修部）の改修整備
平成10年1月	教育用ロボットの更新（対戦型バスケットボール）
平成11年8月	天体ドームのリニューアル工事
〃 9月	1階入口ドアの改修（自動ドア）
平成12年2月	特別収蔵庫の改修
平成13年3月	2階展示室に監視カメラを設置
〃 7月	玄関タイルの改修、車椅子用階段昇降機（内階段）の設置
〃 12月	PDB対策のため照明器具の取替、先賢堂屋根の補修
平成15年3月	ホームページ用サーバー等設置（博物館情報発信環境整備事業）
〃 10月	別館廊下床改修
平成16年3月	エレベーターの全面更新、3階展示室壁面クロス貼替工事
〃 4月	長期研修教員2名配置（博学連携事業開始）
平成17年6月	燻蒸室改修工事
平成18年3月	ロボットコーナー改修工事（FANUC改修、AIBO設置）、本館屋上全面改修工事、展示室フロアコンセント改修工事
〃 4月	長期研修教員1名増員（計3名）
〃 4月	本館火災報知設備改修工事、別館屋上雨漏り補修工事
〃 6月	考古歴史常設展示ケース改修工事
平成19年6月	特別展示室（旧講堂）空調設備改修工事
〃 12月	「未来都市模型」改修
平成21年3月	山口線シミュレータ改修
平成22年3月	ターボ冷凍機圧縮機全分解整備
〃 9月	高効率蛍光灯設置工事（環境政策課）
平成23年1月	3階理工展示室体験型展示資料更新（5点）
〃 3月	別館屋上太陽光パネル設置工事（環境政策課）
平成24年2月	開館100周年記念マスコットキャラクター（なっとくん）選定



「なっとくん」

- 平成24年 3月 住民生活に光をそそぐ交付金の活用により、施設改修（1階収蔵庫・2階生物資料庫改修工事、別館屋上防水工事、ガス管交換工事、本館トイレ工事、段差解消機設置工事ほか）及び展示資料の更新（2階理工ロボットコーナー更新、くらしのなかのサイエンスコーナー新設、地学展示室ティラノサウルス骨格複製レプリカ購入、植物・動物展示室全面更新、天文太陽系運行模型等更新、3階体験学習コーナー11点新設ほか）を行った。
開館100周年記念式典を挙（3月27日）
- 〃 7月 「山口博物館100年のあゆみ」刊行
- 平成25年 4月 長期研修教員1名増員（計4名）
- 平成26年 3月 本館屋上排水口拡張工事、本館外壁爆裂箇所修繕工事、本館屋上タイル修繕工事
- 〃 7月 **アスベスト対策工事のため休館**
- 〃 9月 給水管布設替え工事
- 平成27年 3月 消防設備改修工事、本館屋上階段補修工事
- 〃 6月 **山口大学埋蔵文化財資料館と連携協力協定を締結**
- 平成28年 1月 ターボ冷凍機抽気装置改修
- 〃 5月 アスベスト対策工事終了
- 〃 7月 **再オープン**
- 〃 7月 「松下村塾コーナー」を新設
- 平成29年 4月 長期研修教員1名減員（計3名）
- 〃 11月 「JAXAコーナー」を新設
- 平成30年 4月 明治150年を記念し、吉田松陰関係資料等の特集展示
- 〃 12月 「ミニ維新体験館」を新設
- 平成31年 3月 ターボ冷凍機分解整備
- 令和2年 3月 別館屋上外壁改修工事（令和2年5月終了）
- 〃 3月 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館（3月3日から3月26日まで）
- 〃 5月 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館（4月14日から5月24日まで）
- 〃 5月 「バーチャル博物館（ミュージアム）inやまはく」開設（HP上）
- 〃 7月 「すごいおもちゃコーナー」新設（理工展示室）
- 令和3年 2月 本館・別館トイレ洗面蛇口自動水栓改修
- 〃 〃 「ミュージックミュージアムinバーチャルやまはく」開設（文化庁事業：HP上）
- 〃 8月 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館（8月26日から9月26日まで）
- 〃 9月 本館・別館トイレ自動照明改修
- 令和4年 3月 「デジタル松下村塾」開設（（歴史展示室等、3月18日）
- 〃 3月 「バーチャル収蔵庫」開設（当館HP上、3月18日）
- 〃 3月 「バーチャル山口博物館」開設（HP上のバーチャル展示を統合、3月18日）
- 令和5年 5月 山口博物館高架水槽設備改修工事
- 〃 10月 「すご技！やまぐち」コーナー開設（10月19日）
- 〃 11月 別館講座準備室 空調機器更新工事
- 令和6年 6月 山口博物館空調設備改修工事（本館）（令和7年3月工事終了）
- 11月 改正博物館法での博物館登録の申請が受理
- 令和7年 1月 別館水道管改修工事（令和7年3月工事終了）
- 〃 〃 大型プリンター更新
- 〃 3月 本館照明改修工事



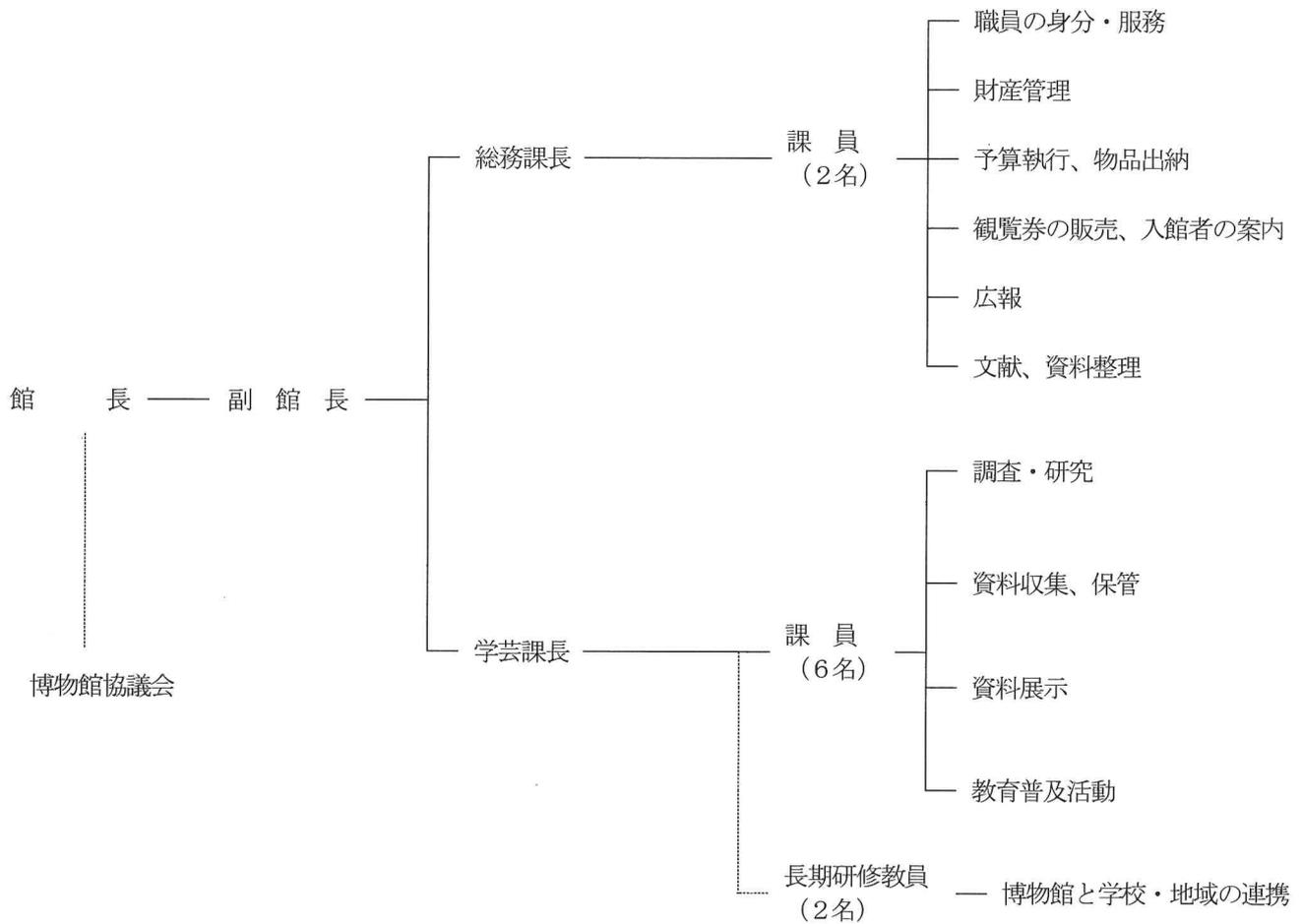
JAXAコーナー



ミニ維新体験館

II 管理運営概要

1 組織



◎ 職員名簿（令和6年4月1日現在）

職名	氏名	事務分掌
館長	西村和彦	館運営総括
副館長	松田誠司	館運営総括補佐
総務課長	中川庄司	総務業務の総括、公印、人事、予算、歳入、広報
学芸課長	漁剛志	学芸業務の総括、理工
主任（総務課）	室田紀泰	歳出、業務委託、給与、旅費
主任（総務課）	園崎良雄	博物館協会等
主任（学芸員）	岩村和政	天文
主任（学芸員）	赤崎英里	地学
主任（学芸員）	阿部来	考古
主任（学芸員）	山田稔	歴史
主任（学芸員）	杉江喜寿	植物
専門学芸員	大森鑑能	動物
教頭（長研教員）	内山知憲	博学地域連携
教諭（長研教員）	森泰一	博学地域連携

2 敷地・建物の概要

庁舎敷地・管理分掌敷地 19,905.04 m²

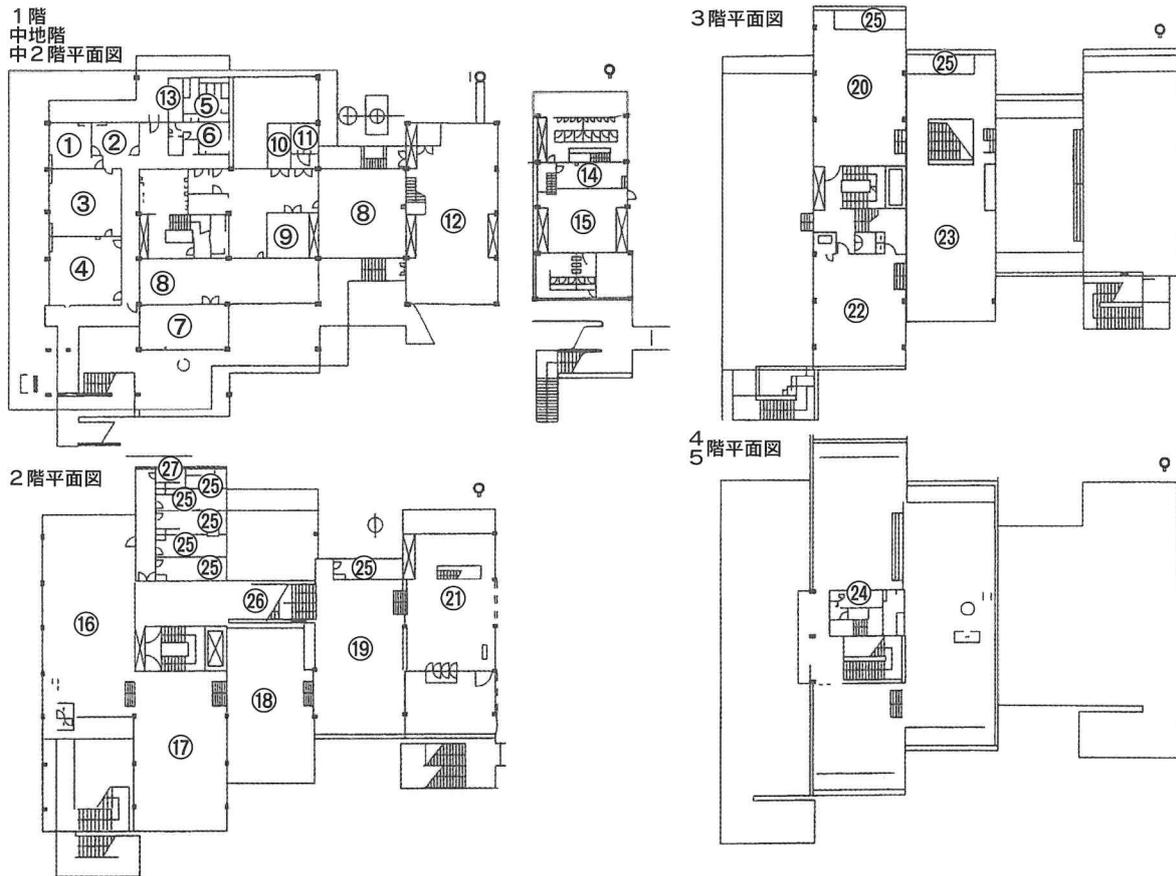
(1) 本館

建築面積 1,771.20 m²
 建築延面積 3,597.21 m²
 軒高 19.050 m
 最高部高さ 22.250 m

構造概要

鉄筋コンクリート造り 地上5階
 地下1階(一部)
 竣工 昭和42年3月
 開館 昭和42年10月
 総工事費 約2億6,100万円

建物平面図



1. 館長室	25.92 m ²	11. 燻蒸室	17.01 m ²	21. 天文展示室	180.72 m ²
2. 応接室	22.50 m ²	12. 機械室	222.62 m ²	22. 特別展示室	142.56 m ²
3. 学芸員室	69.26 m ²	13. ロッカー室	7.56 m ²	23. 理工展示室	294.40 m ²
4. 事務室	69.26 m ²	14. 技師室	27.72 m ²	24. 観測室	79.92 m ²
5. 会議室	29.16 m ²	15. 電気室	66.42 m ²	25. 研究室	152.10 m ²
6. 物品庫	17.60 m ²	16. 理工展示室	259.20 m ²	26. 生物資料庫	116.64 m ²
7. 特別資料室	58.32 m ²	17. 地学 "	200.88 m ²	27. 薬品庫	8.64 m ²
8. 資料庫	233.28 m ²	18. 植物・動物 "	194.40 m ²	その他	677.49 m ²
9. 地学工作室	32.40 m ²	19. 考古・歴史 "	200.88 m ²		
10. 梱包材料庫	15.39 m ²	20. 理工 "	174.96 m ²	合計	3,597.21 m ²

(2) 別館 (旧山口県教育研修所第二研修部庁舎、昭和36年7月20日竣工)

建築面積 480.23㎡

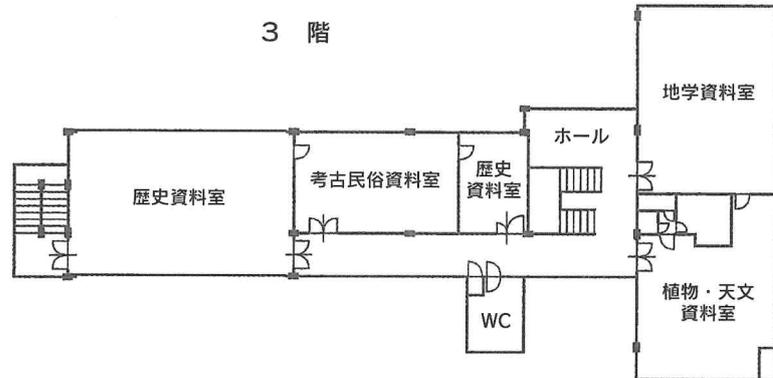
建築延面積 1,566.3㎡

建物平面図

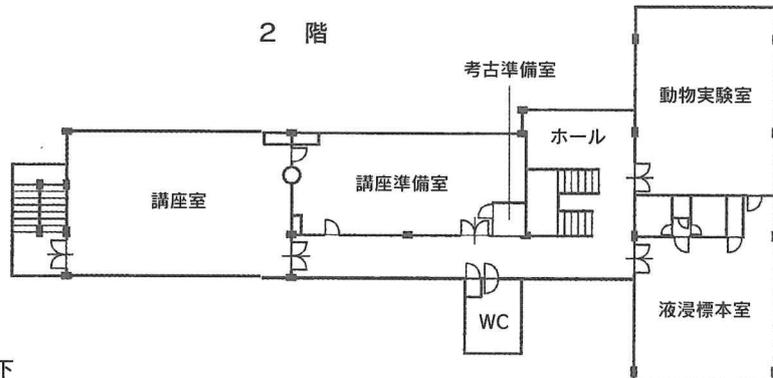
屋上ペントハウス



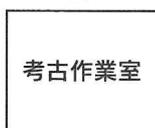
3階



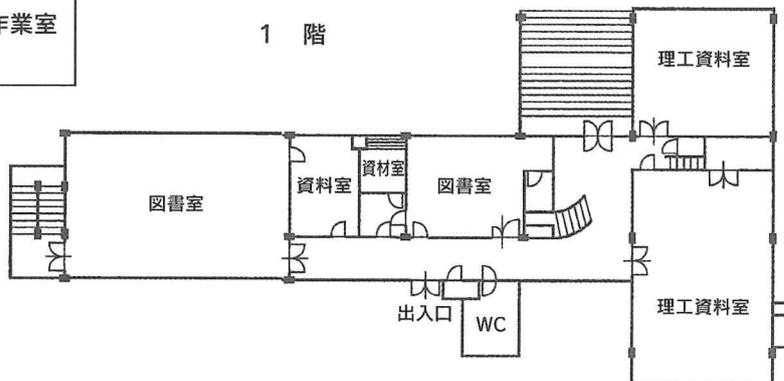
2階



地下



1階



(3) 赤レンガ (旧維新記念室、大正6年竣工)

建築面積 157.02㎡

建築延面積 157.02㎡

(4) 防長先賢堂 (昭和3年竣工)

建築面積 178.51㎡

建築延面積 178.51㎡

Ⅲ 令和6年度利用状況及び年次推移

(1) 総利用者数

【令和6年度】

入館者			計	教育普及	館内利用	館外利用	レファレンス	合計
常設展	特別展	サイエンス						
人	人	人	人	人	人	人	人	人
14,253	27,040	2,127	43,420	636	(127) 3,825	11,798	461	(56,431) 60,140

※ () は社会見学利用を除いた数

【年次推移 (令和元年度以降)】

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
入館者数 (人)	38,106	23,500	18,024	32,171	26,980	43,420
常設展 (人)	17,166	7,705	12,991	18,188	16,664	14,253
特別展 (人)	18,412	13,968	2,309	11,796	8,023	27,040
サイエンス (人)	2,528	1,827	2,724	2,187	2,293	2,127
教育普及活動 (人)	1,647	422	444	578	667	636
レファレンス (人)	450	436	403	474	479	461
出前授業等 (人)	23,302	10,953	15,341	17,051	14,326	15,623
計 (人)	63,505	35,311	34,212	50,274	42,452	60,140

※ 令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため特別展開催期間中の8月26日～9月26日まで臨時休館した。

(2) 入館者の状況

【令和6年度】(個人・団体別)

区分	入館者								入館者合計	開館日数	一日平均入館者数
	個人				団体						
	大人	大学生 高校生	小中学生	その他	大人	大学生 高校生	小中学生	その他			
常設展	4,903	283 147	2,066	3,303	0	0 147	2,841	563	14,253	199	72
特別展	9,948	67 208	8,649	7,254	12	1 0	519	382	27,040	28	966
サイエンス	727	11 3	522	608	0	0 0	233	23	2,127	15	142

★特別展

「大解剖！からくりワールド」の概要

- 1 期 間
令和6年7月26日（金）～8月25日（日）28日間（休館日 8月12日を除く月曜日）
- 2 入館者数
27,040人 ※昨年8,023人（337.0%増）、一昨年11,796人（229.2%増）
- 3 入館料収入
10,802千円 ※昨年3,893千円（277.5%増）、一昨年4,039千円（267.4%増）
- 4 有料入館者率
41.6% ※昨年53.2%、一昨年35.7%
- 5 アンケート結果
「良かった」「とても良かった」が92%（昨年93%、一昨年95%）
- 6 状況

特別展入場者数は27,040人で、一日当たりの入場者は965.7人となりこの10年で最多となった。また、有料の入場者の割合も想定を上回った。関連行事として、「お仕事体験会」「すご技体験会」「アルミ製バイオリンとチェロの二重奏」などを開催した。また同時期に「あそべる宇宙博」を開催していた山口井筒屋との協力のなかで、博物館にキッチンカーを設置しいずれも好評であった。

また、山口県博物館協会に加盟する26の館・園と連携し「やまぐち『ミュージアムリレー』2024」を実施、県外からも含め、316通の応募があった。

★サイエンスやまぐち 2024

① 第78回山口県科学作品展の概要

- 1 期 間
令和6年10月25日（金）～11月10日（日）（15日間開催）
- 2 内 容

県内の各学校に出品された作品は、約22,000点（自然の部 約17,900点、創造の部 約4,100点）であり、県内各学校及び各地区での審査を経て、県科学作品展に243点（自然の部202点、創造の部41点）が出品された。入賞者の内訳は以下のとおり。

	出品点数	優秀賞	奨励賞	入選	佳作	入賞点数計
自然の部(小学校1・2年)	39	1	1	4	8	14
自然の部(小学校3・4年)	42	1	1	6	10	18
自然の部(小学校5・6年)	49	1	1	6	12	20
自然の部(中学・高等学校)	72	1	1	7	14	23
自然の部【総数】	202	4	4	23	44	75
創造の部【総数】	41	2	2	5	7	16

② 第78回山口県科学研究発表会の概要

- 1 開催日（審査日）
令和6年10月10日（木）

2 内 容

児童生徒の科学に関する研究発表作品を、資料・DVDの形で募集し、審査を実施。発表数は10件(小学校の部0件、中・高の部10件)で、入賞者の内訳は以下のとおり。

校種部別	発表数	優秀賞	奨励賞	入選
小学校の部	0	0	0	0
中・高の部	7	1	2	0

【特別展及びサイエンスやまぐち入館者数 年次推移(平成21年度以降)】

年度	特別展	入館者数(期間)	サイエンスやまぐち	入館者数(期間)
H21	タネたねワールド探検隊	11,073人(27日間)	サイエンスやまぐち '09	2,035人(15日間)
H22	やまぐち動物大百科展	20,210人(34日間)	サイエンスやまぐち '10	3,127人(15日間)
H23	恐竜～ダイナソーの世界～	45,624人(28日間)	サイエンスやまぐち '11	2,708人(15日間)
H24	大鉄道展	64,540人(41日間)	サイエンスやまぐち '12	2,327人(15日間)
H25	発見!産業アドベンチャー	12,186人(40日間)	サイエンスやまぐち '13	2,334人(15日間)
H26	テーマ展として実施		サイエンスやまぐち '14	1,703人(14日間)
H27	改修のため、特別展等は他館で開催		サイエンスやまぐち '15	1,150人(15日間)
H28	昆虫のふしぎな世界	27,804人(40日間)	サイエンスやまぐち '16	1,698人(15日間)
H29	アリスと大冒険3Dふしぎ博物館	37,910人(40日間)	サイエンスやまぐち '17	1,838人(15日間)
H30	宇宙兄弟展 2018×やまぐちと宇宙	23,420人(41日間)	サイエンスやまぐち '18	1,935人(15日間)
R1	どきどき!ドローン・ワールド	18,412人(28日間)	サイエンスやまぐち '19	2,528人(15日間)
R2	生物の進化と恐竜ワールド	13,968人(36日間)	サイエンスやまぐち '20	1,827人(15日間)
R3	江戸時代の旅と街道	2,309人(16日間)	サイエンスやまぐち '21	2,724人(15日間)
R4	ふしぎ・おどろき・大動物展	11,796人(36日間)	サイエンスやまぐち '22	2,187人(15日間)
R5	やまぐち大考古博	8,023人(36日間)	サイエンスやまぐち '23	2,293人(15日間)
R6	大解剖!からくりワールド	27,040人(28日間)	サイエンスやまぐち '24	2,127人(15日間)
	平均(H26,27.R3の特別展を除く)	24,770人		2,159人

※平成26～27年度の特別展は、博物館改修のため他館で開催

【特別展】

H26	(テーマ展) きらり山口!人物伝	594人	(7日間、県政資料館)
H27	NHK大河ドラマ特別展「花燃ゆ」	14,107人	(34日間、萩美術館・浦上記念館)
〃	(特別展) 世界大恐竜展	80,245人	(47日間、県立美術館)
H30	(特別展) 明治150年記念特別展「激動の幕末長州藩主毛利敬親	19,619人	(42日間、県立美術館)

【サイエンスやまぐち】

H26	サイエンスやまぐち2014	県政資料館
H27	サイエンスやまぐち2015	県社会福祉会館

(3) 教育普及講座の実施状況

【令和6年度】

全参加者数(人)	636人
----------	------

- ・予定していた25回の講座のうち、実施したのは24回(1回は悪天候のため中止)
- ・詳細については、「令和6年度事業概要 4 教育普及」に記載

【年次推移(令和元年度以降)】

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	平均
参加者数(人)	1,647	422	444	578	667	636	732

※R2年度以降は、新型コロナウイルス感染症拡大防止と安全対策(主に天文分野)として募集定員の制限を実施

(4) 博物館学校地域連携教育支援事業の実施状況

【令和6年度】博物館学校地域連携教育支援事業 利用者数集計表(対象別内訳)

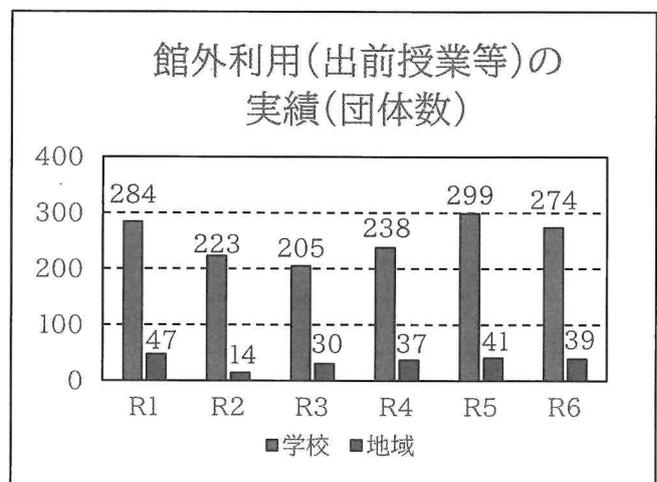
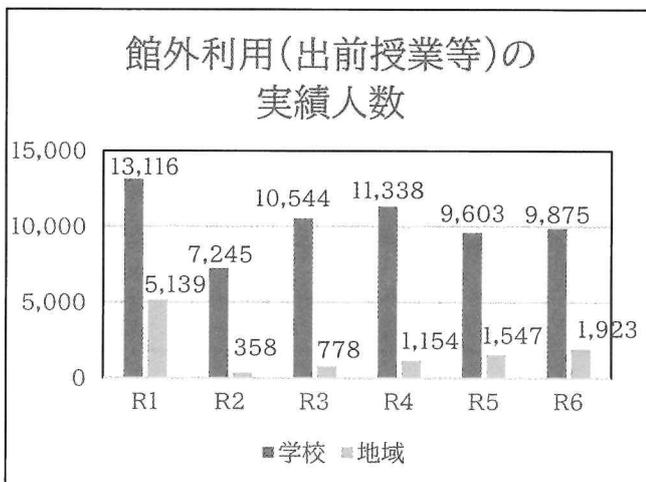
【年間計】

館内利用			幼保	小	中	高・大	教員※	保護者	地域	引率※	計
A 社会見学	学校	人	37	2,575	256	130	59	0	0	258	3,315
		団体	2	119	16	5	3	0	0	-	145
	地域	人	0	293	0	0	0	47	0	40	380
		団体	0	0	0	0	0	0	10	-	10
B 館内授業	学校	人	0	117	3	7	0	0	0	0	127
		団体	0	5	1	1	0	0	0	-	7
	地域	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		団体	0	0	0	0	0	0	0	-	0
C 職場体験	学校	人	0	0	3	0	0	0	0	0	3
	地域	人	0	0	0	0	0	0	0	-	0

館外利用			幼保	小	中	高・大	教員	保護者	地域	引率※	計
A 出前授業	学校	人	48	3,563	296	103	326	368	16	0	4,720
		団体	2	213	13	5	1	0	0	-	234
	地域	人	0	588	15	0	93	90	81	0	867
		団体	0	0	0	0	0	0	35	-	35
B 教材貸出	学校	人	0	1,373	3,432	230	49	0	0	0	5,084
		団体	0	15	24	1	0	0	0	-	40
	地域	人	0	235	0	0	3	218	100	0	556
		団体	0	0	0	0	0	0	4	-	4
C 移動展示	学校	人	0	52	0	0	19	0	0	0	71
	地域	人	0	370	0	0	10	120	0	-	500

【年次推移（令和元年度以降）】

年 度			R1	R2	R3	R4	R5	R6
利用者総数			23,302	10,953	15,341	17,051	14,326	15,623
利用団体総数			530	329	319	388	476	475
学校	館内利用	利用者数	3,814	3,153	3,973	4,538	2,975	3,445
		利用団体数	151	74	81	112	130	152
	館外利用	利用者数	13,116	7,245	10,544	11,338	9,603	9,875
		利用団体数	284	223	205	238	299	274
地域	館内利用	利用者数	1,233	197	46	21	201	380
		利用団体数	48	18	3	1	6	10
	館外利用	利用者数	5,139	358	778	1,154	1,547	1,923
		利用団体数	47	14	30	37	41	39



出前授業（ドローンプログラミング）



ワークショップコレクション（県のイベント）

(5) 資料・写真の貸出等（展覧会・講座等）

【令和6年度】

件数（件）	70
-------	----

【年次推移（令和元年度以降）】

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	平均
件数（件）	156	130	138	140	119	70	126

(6) レファレンスその他の実施状況

【令和6年度】

件数（件）	461
-------	-----

（分野別）

	天文	地学	植物	動物	考古	歴史	理工	合計
件数（件）	33	10	66	130	61	131	30	461

【年次推移（令和元年度以降）】

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	平均
件数（件）	450	436	403	474	479	461	451

(7) ホームページアクセス件数（アクセス件数の記録は令和元年度以降）

【令和6年度】

件数（件）	983,919
-------	---------

【年次推移（令和元年度以降）】

年度	R1	R2	R3	R4	R5	平均
件数（件）	115,225	107,547	134,568	142,570	166,228	133,228

※R6年度別途記載（集計方法の変更による）

【年次推移（令和6年度以降）】

年度	R6	平均
件数（件）	983,913	—

IV 令和6年度事業概要

1 資料の収集・保管

(1) 収蔵資料数 (令和7年3月31日現在)

部門	天文	地学	植物	動物	理工	考古	歴史	その他	合計
資料数	282	4,960	216,407	134,899	1,121	4,817	4,795	4,841	372,122
前年度 増減	0	0	1,139	1409	0	0	42	0	2,590

(2) 新着資料(令和6年度)

部門	資料名	数量	寄贈者・購入先
植物	腊葉標本 ※登録及び保管処理済のみ (受入は以前のものも含む)	565点	寄贈 (南 敦氏)
		412点	寄贈 (三宅貞敏氏)
		140点	寄贈 (眞崎 久氏)
		21点	寄贈 (上田洋史氏)
		1点	寄贈 (山根文人氏)
動物	チョウ類標本	1,409点	寄贈 (宅野 允望氏)
歴史	三条西季知和歌書ほか2点 近藤清石関係資料	3点	寄贈 (福地映子氏)
		39点	寄贈 (近藤信一郎氏)



特別収蔵庫 ①



特別収蔵庫 ②



動植物収蔵庫 (生物資料庫: ①)



動植物収蔵庫 (生物資料庫: ②植物)

(3) 収蔵資料数の年次推移 (平成28年(2016年)度より)

	平成 28年 (2016)	平成 29年 (2017)	平成 30年 (2018)	令和 元年 (2019)	令和 2年 (2020)	令和 3年 (2021)	令和 4年 (2022)	令和 5年 (2023)	令和 6年 (2024)
天文	— (281)	— (281)	— (281)	— (281)	— (281)	— (281)	1 (282)	— (282)	— (282)
地学	5 (4,870)	43 (4,913)	2 (4,915)	1 (4,916)	— (4,916)	13 (4,929)	5 (4,934)	26 (4,960)	— (4,960)
植物	378 (213,675)	116 (213,791)	269 (214,060)	97 (214,157)	168 (214,325)	339 (214,664)	455 (215,119)	149 (215,268)	1,139 (216,407)
動物	6,594 (124,024)	2,658 (126,682)	1,538 (128,220)	758 (128,978)	586 (129,564)	621 (130,185)	3,305 (133,490)	423 (133,913)	1,409 (134,899)
理工	1 (1,071)	— (1,071)	— (1,071)	1 (1,072)	— (1,072)	— (1,072)	— (1,072)	49 (1,121)	— (1,121)
小計	6,978 (343,921)	2,817 (346,738)	1,809 (348,547)	857 (349,404)	754 (350,158)	973 (351,131)	3,766 (354,897)	3,766 (354,897)	2,539 (357,669)
考古	— (4,817)	— (4,817)	— (4,817)	— (4,817)	— (4,817)	— (4,817)	— (4,817)	— (4,817)	— (4,817)
歴史	— (4,656)	1 (4,657)	65 (4,722)	— (4,722)	— (4,722)	10 (4,732)	1 (4,733)	20 (4,753)	42 (4,795)
美術 工芸	— (1,699)	— (1,699)	— (1,699)	— (1,699)	— (1,699)	— (1,699)	— (1,699)	— (1,699)	— (1,699)
民俗	— (3,142)	— (3,142)	— (3,142)	— (3,142)	— (3,142)	— (3,142)	— (3,142)	— (3,142)	— (3,142)
小計	— (14,314)	1 (14,315)	65 (14,380)	— (14,380)	— (14,380)	10 (14,390)	1 (14,391)	1 (14,391)	42 (14,453)
合計	6,978 (358,235)	2,818 (361,053)	1,874 (362,927)	857 (363,784)	754 (364,538)	983 (365,521)	3,767 (369,288)	3,767 (369,288)	2,590 (372,122)

(4) 館蔵指定文化財一覧（寄託品を含む）

No.	指定区分	種別	資料名	点数	指定年月日	所蔵者
1	国	絵画	絹本着色毛利元就像	1 幅	昭和 44 年 6 月 20 日	豊栄神社
2	国	絵画	絹本着色仁王経曼荼羅図	1 幅	昭和 53 年 6 月 15 日	神上寺
3	国	工芸品	太刀 銘口友 伝助友	1 口	大正元年 9 月 3 日	野田神社
4	国	歴史資料	防長土図 附長持並櫃	109 個	平成 5 年 1 月 20 日	山口県
5	国	歴史資料	正徳元年朝鮮通信使進物並進物目録 附長持	106 点	平成 5 年 6 月 10 日	山口県
6	国	有形民俗文化財	江崎のまるきぶね	1 隻	昭和 32 年 6 月 3 日 昭和 50 年 10 月 1 日	山口県
7	県	彫刻	能面	10 面	昭和 41 年 6 月 10 日	正八幡宮
8	県	絵画	絹本着色大庵須益和尚像	1 幅	昭和 45 年 4 月 1 日	瑠璃光寺
9	県	絵画	絹本着色全岩東純和尚像	1 幅	昭和 45 年 4 月 1 日	瑠璃光寺
10	県	絵画	絹本着色桃岳瑞見和尚像	1 幅	昭和 45 年 4 月 1 日	瑠璃光寺
11	県	絵画	絹本着色釈迦十六善神像 付納箱	1 幅	昭和 60 年 10 月 29 日	極楽寺
12	県	絵画	紙本着色尼子経久像	1 幅	昭和 49 年 11 月 8 日	山口県
13	県	絵画	絹本着色尼子晴久像	1 幅	昭和 49 年 11 月 8 日	山口県
14	県	工芸品	鰐口	1 口	昭和 55 年 4 月 11 日	名田勝子
15	県	考古資料	茶臼山古墳出土品 画文帯神獣鏡	1 面	平成 7 年 1 月 13 日	山口県
16	県	書跡	手鑑「多々良の麻佐古」	1 帖	令和元年 12 月 6 日	山口県
17	県	考古資料	御山神社経塚出土品	20 点	昭和 49 年 11 月 8 日	御山神社
18	県	歴史資料	紙本着色毛利敬親山口新御屋形入居奉祝図	1 面	平成 29 年 5 月 9 日	野田神社
19	県	考古資料	赤妻古墳出土の舟形石棺	1 基	平成 5 年 5 月 14 日	山口県
20	山口市	彫刻	木造獅子頭 付納箱	1 頭	平成 8 年 2 月 15 日	朝倉八幡宮
21	岩国市	古文書	出師の檄及び長州征伐の記録	1 枚	昭和 50 年 10 月 8 日	讃井知明

(5) 資料の貸出・資料の特別利用の状況(令和6年度)

・資料の貸出

No.	資料名	点数	貸出先	期間(会期)
1	日本政記、奇兵隊袖印、大村益次郎蘭学字書	3	下関市立歴史博物館	令和6年7月26日 ～9月29日
2	紙本着色尼子経久像、絹本着色尼子晴久像ほか	5	島根県立古代出雲歴史博物館	令和6年10月11日 ～12月8日
3	貝化石、サメの歯ほか	3	防府市青少年科学館	令和6年11月9日 ～令和7年2月24日
4	絹本着色毛利元就像ほか	4	島根県立石見美術館	令和7年4月26日 ～6月16日

※令和5年度貸出実績は7件

・資料の特別利用(資料画像データの出版等への利用)

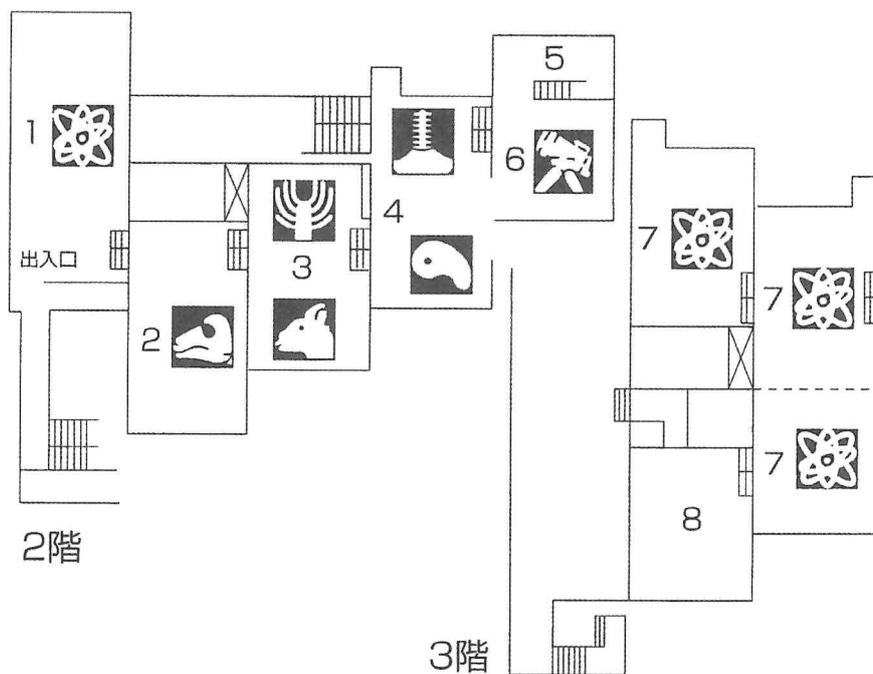
部門	天文	地学	植物	動物	理工	考古	歴史	その他	合計
件数	1	2	2	1	4	6	49	1	66
前年度増減	△1	△5	0	△1	4	△5	△39	1	△46

※令和5年度特別利用実績は112件

2 資料展示

(1) 展示室案内

1. 2階理工展示室
2. 地学展示室
3. 植物・動物展示室
4. 考古・歴史展示室
5. ロビー
(学習コーナー)
6. 天文展示室
7. 3階理工展示室
8. 特別展示室



展示室風景

(2) 常設展示

・令和6年度に変更・追加した資料

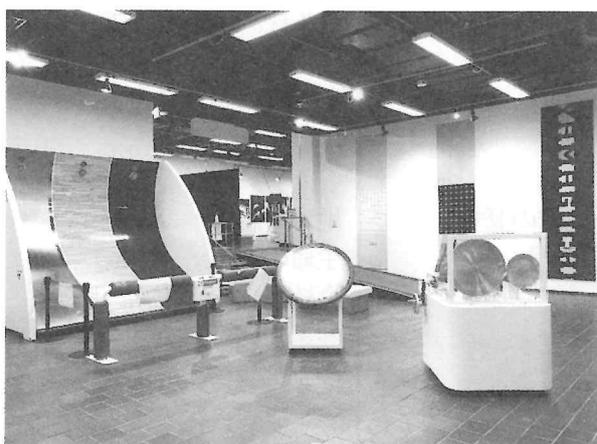
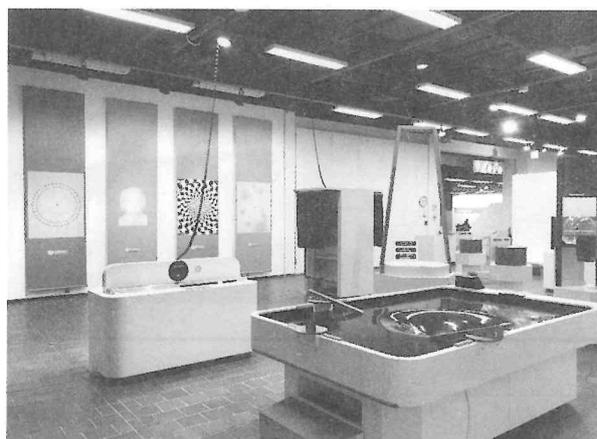
分野 (展示場所)	資料名	概要	時期
理工	「コンピュータの歴史」 (2階)	ICT 社会に不可欠なコンピュータの発展史を収蔵資料と体験型展示で紹介。 算木、5玉そろばん、手回し計算機など2進数計算機以前の資料から磁気コアメモリーを内蔵した電卓 AL-1000 やマイコン時代の幕開けとなった TK-80 など、コンピュータが個人に普及するようになるまでの機器を紹介。あわせて、2進数計算の原理を体験を通して紹介する「リコサポ計算機」など約30点を展示。	3月
地学	ヒゲクジラ類の頭骨化石	新生代展示ケースに追加	4月
植物	なっとくんの「緑のたより」「季節のたより」	身近な植物を画像やクイズなどで紹介	通年
	植物関連図書	植物関連図書(植物画)、図鑑などを展示	通年
	植物ニュース・植物の紹介映像	山口県や周辺地域の植物の記事や生態などを紹介	通年
動物	ツキノワグマ剥製	ジオラマエリアに解説パネルと共に追加	7月
考古	管玉、盾形埴輪、鉄斧	山口市赤妻古墳出土	10月
歴史	明治維新関係資料展示 ① 毛利敬親関係資料 ② 周布政之助・木戸孝允関係資料 ③ 吉田松陰関係資料 防長の絵図	特集展示「明治維新と長州藩」として、関係資料を随時展示替え。 萩城下町絵図、行程記、芸州吉田郡山絵図ほか	通年
天文	天文ニュース	年4回、天文に関わるニュース・写真の更新	通年

■ 2階理工展示室



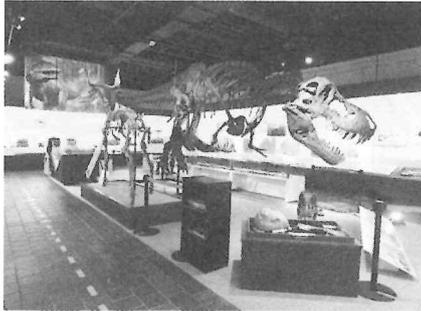
主題	内容	展示資料
ロボットコーナー	車の組み立てや薬剤の仕分けなど行う産業用のロボットの動きを、5つの楽しいパフォーマンスで紹介する。また、かわいらしい動きをするコミュニケーションロボットのプログラミングを通して、ロボット制御を体験する。	垂直多関節形ロボット、スタンプロボット、コミュニケーションロボット 6点
ミニ維新体験館	明治 150 年プロジェクト「やまぐち未来維新」の中核イベントとして開催した「山口ゆめ花博」会場で好評だった「維新体験館」のVR（バーチャルリアリティ）映像などの主なコンテンツを「ミニ維新体験館」として設置。	幕末維新回廊プロモーションビデオ、松陰先生からのメッセージ、疾風怒濤の歴史ドラマ、VRで参加する幕末・維新の名場面 3点。新型コロナウイルス拡大防止対策のため、操作体験は不可とした。
すご技！やまぐちコーナー	県内企業の卓越したものづくり技術を経験を通して、子どもたちにもわかりやすいかたちで展示。	釣り糸バスケット、テンセグリティ、0リング自動挿入機などの玩具等約 30 点（空調工事による臨時休館まで。3月25日からは「コンピュータの歴史」を展示）。
くらしのなかのサイエンス	私たちの生活を支えている科学の中から、「発熱」「発光」「発電」の3つのエッセンスを取り上げ、収蔵資料と現在の製品の展示を通して科学技術の進化を紹介する。	小型ロボット「ムッシュ君」、炊飯器カットモデル、有機ELテレビ等実物資料、レプリカなど約 10 点
山口県の産業技術史	山口県の地質や地理的要因を踏まえながら山口県で発展した産業を紹介する。また、日本の近代産業化に貢献した県出身者の業績もあわせて紹介する。	「明治日本の産業革命遺産」紹介映像、D51137 機関車模型、凌雲閣エレベータ模型、耐熱フィルム、耐熱繊維コーネックスなど 15 点
未来都市模型	太陽光発電や風力発電など環境にやさしい石油代替エネルギーの紹介や未来の乗り物の操作体験。	リニアモーターカー、太陽光導入システム、太陽光発電大賀模型、石油代替エネルギー解説装置

■ 3階理工展示室



主題	内容	展示資料
体験学習コーナー	子どもから大人まで楽しめるシンプルで独創的なアナログ体験資料で体や頭を使って、楽しみながら自然界や法則や原理を体験。	スイングバイテーブル、どれくらいテーブル、ゾートロープなど体験展示資料、約20点。
JAXA コーナー	JAXA 提供の人工衛星や宇宙利用・宇宙開発関係の写真やイラストを展示。また人工衛星などの館蔵資料もあわせて展示。	写真及びイラストパネル13枚、人工衛星模型。
山口線運転シミュレータ	実物機器を備えたディーゼルカーの運転席でハンドルやブレーキを操作することができ、操作にともない、山口線ワイドパノラマ映像のスピードや音が変化することで、本物と同様の列車運転が体験できる。	キハ58型ディーゼルカー運転席、130インチワイドスクリーン、路線機器、路線データモニターテレビ、制御機器、機器説明パネルなど

■ 地学展示室



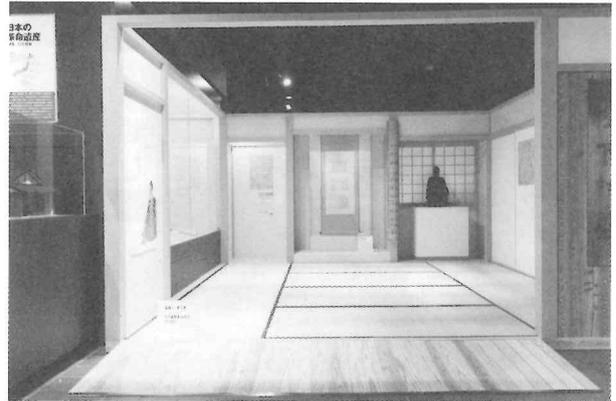
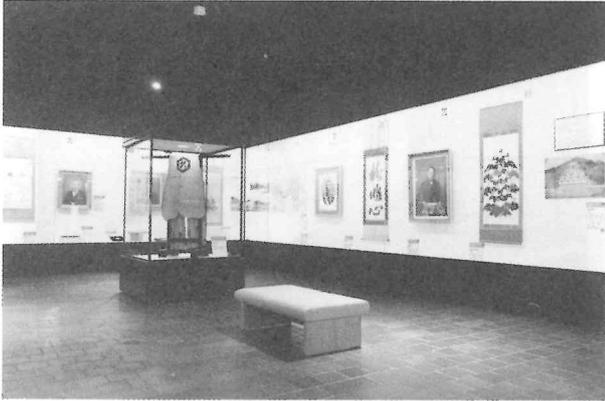
主題	内容	展示資料
山口県の大地の生い立ち	古生代の山口県のように紹介 中生代の山口県のように紹介 新生代の山口県のように紹介	県内最古の岩石 2 点、海底火山の岩石 1 点、ウミユリなど化石を含む石灰岩 25 点 美祢層群産化石資料など 16 点、火成岩資料 9 点、変成岩 8 点 スサガメなど化石資料 18 点、ホルンフェルスなど岩石資料 5 点
地球の歴史	地球の誕生 生命の誕生 真核生物の誕生 酸素の発生 多細胞生物の誕生 魚類の時代 両生類の時代 森林の時代 は虫類の時代 鳥類の時代 ほ乳類の時代	隕石 1 点、最古の岩石 2 点 ピルバラのチャート 1 点 グリパニア 1 点 縞状鉄鉱石 1 点 エディアカラ生物群（複製） 5 点 バージェス動物群（複製） 2 点 クラウディナ、クックソニア各 1 点 シーラカンス、ボトリオレピス、アカントーデス各 1 点 ディスコサウリスキス 1 点 ロボク、リンボク、フウインボク各 1 点 ディメトロドン（複製）、ブラジロサウルス、プレシオサウルス（複製）、コンプソグナトゥス（複製）、ティラノサウルス（複製） 1 点 始祖鳥（複製） 1 点 ヤベオオツノジカ（複製） 1 点、ヒト頭骨（複製） 5 点
その他	山口県の石 山口県の地震 山口県の火山 タッチ化石 おたのしみ鉱物 主に顕生代における生物の出現と絶滅、大陸移動について記した年表 やまぐちの大地の成り立ちアニメ クジャク石から銅を取り出そう動画 花崗岩の薄片製作・偏光顕微鏡像動画	石灰岩 1 点、美祢層群の植物化石 1 点、銅鉱石 1 点 プレート模型 2 点 火山岩など 11 点 恐竜実物化石 2 点 鉱物 10 点 地球史年表（生物の進化編） モニター モニター、パネル モニター

■ 植物・動物展示室



主題	内容	展示資料
山口県植物相のなりたち	県内植物の4つのルーツを示すとともに、帰化植物の現状を紹介する。	レプリカ、標本など約30点
山口県の動物	山口県内に生息する代表的な哺乳類・鳥類・両生類・爬虫類・昆虫類を紹介する。	哺乳類剥製16点、鳥類剥製45点、両生類・爬虫類レプリカ20点、昆虫類標本約1,000点
山口県の植物	山口県内各地や博物館周辺の植物の情報を画像や映像、解説、4コマ漫画などで紹介する。	緑のたより(山口県版、博物館周辺版他)、緑の小話、季節のたより、花巡り(県外編)植物ニュース、植物クイズなど
山口県の植物・動物ジオラマ	山口県の特徴的な植物相(フローラ)・動物相(ファウナ)を6シーン1/1のジオラマで紹介する。 ・海浜 ・市街地 ・河岸・ため池 ・草地 ・里山 ・深山	<ul style="list-style-type: none"> ・ハマボウ・ハマオモト他 全5種 ・イソシギ・カブトガニ他 全8種 ・コバンソウ・マツヨイグサ他 全8種 ・ミシシippアカミミガメ他 全7種 ・キシツツジ・ホテイアオイ他 全7種 ・アカザ・カワセミ・マシジミ他全20種 ・アカネスゲ・オキナグサ他 全7種 ・ニホンアナグマ・キジ他 全5種 ・スダジイ・ギンリュウソウ他 全19種 ・タヌキ・モリアオガエル他 全32種 ・ブナ・カタクリ他 全12種 ・ツキノワグマ・ヤマネ他 全24種 植物合計61種 動物合計96種

■ 考古・歴史展示室



主題	内容	展示資料
はじめての考古学	小・中・高等学校の教科書にも登場する縄文・弥生・古墳時代の考古資料を中心にわかりやすく展示・解説している。	板状土偶、石棒、石鏃、磨製石斧、石包丁、銅鏡、馬具、短甲、勾玉、紡錘車、須恵器、耳環（展示替えあり）
明治維新と長州藩	明治維新関係資料を特集展示。特に、松下村塾コーナーでは、門下生関係資料を随時紹介。	萩城下町図屏風、毛利氏歴代肖像、毛利敬親肖像、来島又兵衛肖像、周布政之助所用陣羽織・袴、吉田松陰書簡、木戸孝允所用硯箱ほか（展示替えあり）
絵図で見る防長の街道	館蔵の街道絵図と各街道をパネルで紹介。	行程記（萩～山口部分）

■ 天文展示室



主題	内容	展示資料
太陽系運行模型	8つの惑星が実際の公転時間の比率どおりに、太陽の周りを回り、各惑星の特徴についても、画像を使いわかりやすく解説する。	動く惑星の模型（直径4m）、モニター12台
太陽系と隕石	太陽系が生まれて、現在の姿になるまでの歴史をたどるとともに、隕石についても解説する。	隕石12点（うち2点は山口県内落下の隕石）、隕石レプリカ2点、写真5点、イラスト5点、玖珂隕石投影装置
宇宙の構成	太陽系・銀河系・銀河系外の宇宙へと、スケールを変えて繋がる宇宙の広がりを紹介する。	惑星等の模型9点、写真13点、イラスト5点、フーコーの振り子
天文学の歴史	山口博物館が収蔵している天体観測機器など、天文学史に関する資料を展示。	山口博物館の収蔵資料（実物）3点、写真7点
天文ニュース	日食、惑星、季節の星座など天文現象に関する話題・予報をイラスト・写真等を使用し、紹介する。	主な天文現象の解説記事6点
山口の星空	山口県から見ることのできる星空を、大型蛍光星座板で展示。	2.6m×7.5mの大型蛍光星座板
JAXA コーナー	JAXA 提供の月面及び小惑星探査機（はやぶさ2）帰還の映像を大型ディスプレイで上映する。	モニター（55インチ） リュウグウサンプルのレプリカ

■ 天体観測室

本館の4、5階が天体観測準備室、天体観測室（アストロ光学 5mドーム）となっている。20cm屈折赤道儀（ニコン社製）を設置し、天体部門の教育普及活動・調査研究に使用している。



■ 屋外展示

<考古分野>

- 箱式石棺 山口市大内川向 (弥生時代) 2基
- 舟形石棺 山口市赤妻 (古墳時代) 1基
- 大坂城築城石材 周南市大津島 (江戸時代) 1点

○ 山口市赤妻古墳出土の^{くりぬき}刳抜式舟形石棺
1908(明治41)年の土取作業時に発見された。山口県下唯一の例で、1993(平成5)年に県の有形文化財に指定。

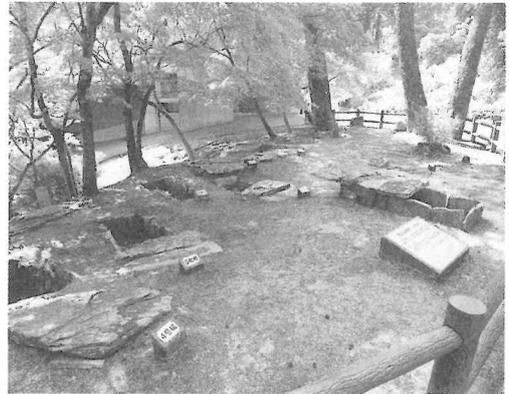
巨大な砂岩を刳抜いて作られたもので、全長231cm、最大幅98cm、全高60cm、蓋に4、身に2(うち1欠損)の縄掛突起を持っている。

山口盆地を統率した女性首長の棺と推定されている。



○ 山口市白石茶臼山石棺群

遺跡は山口盆地中央部に延びる鴻ノ峰山麓南支丘末端部、標高約35mの位置に立地していた。1968(昭和43)年の住宅造成中に総数9基の箱式石棺が発見され、調査後、すべての遺構が当館敷地に移築復元された。弥生時代終末期～古墳時代前期における墳墓形態の変遷が見学できる。



<理工分野>

○ D60形式1号機関車

この機関車は、1927(昭和2)年に川崎造船所で誕生し、東海道本線や山陽本線などで活躍していたD50型機関車の改造車で山口県の旅客・貨物輸送を最後に1966(昭和41)年廃車になった。

博物館では、この由緒ある機関車を1968(昭和43)年9月に当時の国鉄から借り受け、屋外展示をしている。



<地学分野>

○山口県の化石

- 特牛の貝化石（新生代） 下関市
- 吉母の貝化石（中生代） 下関市
- 秋吉台の石灰岩（古生代） 美祿市

○山口県の岩石

- 斑れい岩（萩市）、安山岩（萩市）、凝灰岩（萩市）、花崗岩（山口市）、砂岩（美祿市）、泥岩（下関市）、石灰岩（美祿市）、チャート（岩国市）、片岩（山口市）、片麻岩（岩国市）



<植物分野>

○樹木プレート（ミニ植物園）

博物館の敷地内とその周辺（春日山）の散策路に代表的な樹名の解説プレートを45枚（2022年度末現在）設置し、ミニ植物園として、樹木の名前と簡単な特徴の解説をしている。



令和6年度特別展「大解剖！からくりワールド」実施報告

1. 趣 旨

技術が進歩して私たちの生活スタイルが変わっていても、歯車やリンクなどの機械要素は、モーターやロボットには欠かせない部品であり、私たちの生活を支え続けてくれています。

本展覧会では、技術が進歩しても変わらない歯車やリンク等の機械要素について、子どもの大好きなからくり人形やロボットなどを実際に体験してもらうことにより、観覧される方々に科学技術の楽しさや面白さについて知っていただく機会とします。

また、展示の中では、県内の「ものづくり」企業の製品や、山口県在住の世界的なオートマタ（西洋のからくり人形）作家である原田和明氏の作品等を紹介することで、本県の最大の強みである「ものづくり」について理解を深める場とします。

2. 会 期 令和6年(2024年)7月26日(金)～8月25日(日) (28日開催)
(休館日 8月12日(月)を除く期間中の月曜日)

3. 会 場 山口県立山口博物館3階会場 (山口市春日町8-2)

4. 入 館 料 一般1,000円、学生・シニア(70歳以上の方)650円
18才以下の方及び高等学校、中等教育学校、特別支援学校等に在学する生徒は無料

5. 主 催 山口県、山口県教育委員会、「大解剖！からくりワールド」実行委員会
(山口県立山口博物館、(公財)山口県ひとづくり財団、(公財)やまぐち産業振興財団、(地独)山口県産業技術センター、(一社)山口県観光連盟、K R Y山口放送、山口新聞社)

6. 特別協賛 株式会社豆子郎、富士高圧フレキシブルホース株式会社、山田石油株式会社、公益財団法人日本教育公務員弘済会山口支部、株式会社山口教弘、一般社団法人山口県発明協会、兼安石灰機工株式会社、株式会社巽設計コンサルタント、株式会社川棚グランドホテルお多福、株式会社瓦そばたかせ、川棚温泉まちづくり株式会社、カワノ工業株式会社、野田学園中学高等学校、萩山口信用金庫、山口産業株式会社

7. 後 援 NHK山口放送局、エフエム山口、C-able山口ケーブルビジョン、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、中国新聞防長本社、宇部日報社

8. 展示内容

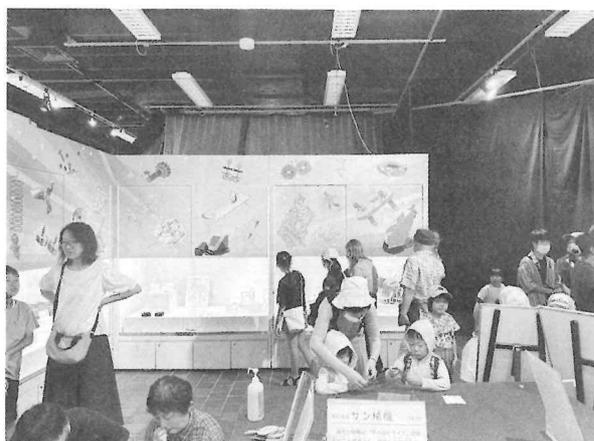
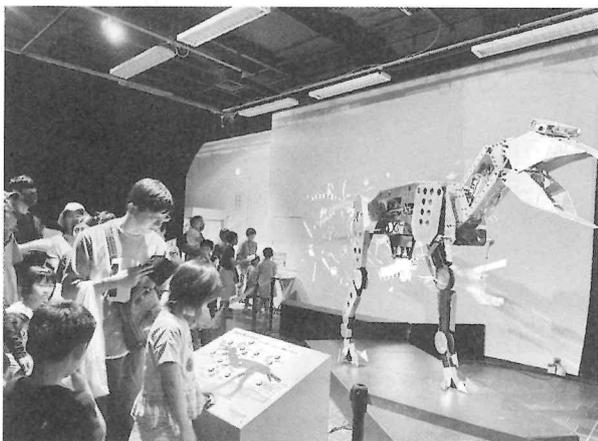
1章 からくり回廊

カムやリンクなどの機械要素やティラノサウルスのスケルトンロボットを展示

し、ロボットやからくり人形がどのようなしくみで動いているの理解するコーナーとした。

2章 山口発！私たちの暮らしを支えるすご技！技術

私たちの暮らしを支えている県内の「ものづくり」企業の中から17社の企業が有する優れた技術の魅力を、製品の展示だけではなく企業の職員が技術力の魅力を解説する「お仕事体験会」や、出展資料に実際に触れる「すご技！体験会」を通して、わかりやすい形で紹介した。



3章 体験！オートマタ

山口県在住のオートマタ（西洋のからくり人形）作家、原田和明氏の製作した作品を中心に、コミカルな動きを実現したオートマタを紹介した。また、からくりのしくみが理解できる「なっとくんのはてなボックス」やからくりゲーム（有料）など、体感をとおしてからくりのしくみを学ぶコーナーとした。

4章 つくってみよう！組み立て工房

自由な発想で、ギアやリンクなどを自由に組み合わせて、オリジナルの機械をつくるパーツプールや、週替わりの工作と、会期を通してつくることの出来る工作の計5種を用意し、会場内で購入・制作してもらうことで「ものづくり」の楽しさを体感してもらった。



9 関連イベント

○ やまぐち「ミュージアムリレー」2024

7/13(土)～9/1(日)の期間、山口県博物館協会加盟の26の他館が参加して実施。合計316人(県内250人、県外31人)の応募があった。

○ 打ち出し板金で制作したアルミ製のヴァイオリンとチェロの二重奏

- ・日 時 令和6年8月18日(日)
午前10時30分から30分程度
- ・演奏者 ヴァイオリン 河本 真樹子
チェロ 藤見 清加



○ あそべる宇宙博

(山口井筒屋7/20(土)～8/13(火))

- ・山口博物館は展示、イベントで協力
- ・クロススタンプラリー(7/20～8/12)で連携
- ・この連携の中で、特別展期間中に博物館敷地内でキッチンカーを営業

○ 週替わり工作

にほんブログ村棒	全期間 [7/26(金)～8/25(日)]
お花の万華鏡	第1週 [7/26(金)～8/1(木)]
しゃぼん玉	第2週 [8/2(金)～8/8(木)]
バッティングマシン	第3週 [8/9(金)～8/15(木)]
はじいてキャッチボール	第4週 [8/16(金)～8/25(日)]



○ 「ものづくり」お仕事体験

(株)サンライン	プラズマポイでスーパーボールすくい	7/26, 8/10
三笠産業(株)	蛍光シールであそぼう!	7/27, 8/17
(株)ナベル	折り紙万華鏡をつくろう!	8/3
(株)山下工業所	打ち出し板金体験	8/4, 8/12, 8/24
富士高压フレキシブルホース(株)	Oリング自動挿入機	8/18

○ すご技! 体験会

(株)アクシス	水のもれないトラック、兜	7/27, 8/7, 8/16
(株)伊藤	すべらないすべり台	7/28, 8/8, 8/17
(株)サンライン	バランストンボ	7/30, 8/9, 8/18
(株)伸和精工	3D迷路	7/31, 8/10, 8/20
(株)ひびき精機	アコーディオンカップ	8/1, 8/11, 8/21
増田工作所	まわりつづけるコマ	8/2, 8/12, 8/22
(株)ミヤハラ	からくりおもちゃ	8/3, 8/13, 8/23
まるわステンレス工業(株)	射的、地図パズル	8/4, 8/14, 8/24
(株)新興製作所	テツオリガミ	8/6, 8/15, 8/25

企画展（植物分野）

やまぐち植物さんぽ 【I】

～植物って、すごい、おもしろい、ふしぎ！～

開催報告

1. 概要 植物の世界は奥深く、知れば知るほどすごい、おもしろい、ふしぎな世界が広がっていて、山口県やその周辺にも興味深い植物がたくさんあります。
本展では、山口県内の植物を中心に、そのすごさやおもしろさ、ふしぎさをそれらの植物が生育している地域の美しい景観とともに紹介した。また、牧野富太郎博士の標本を含む貴重な収蔵資料を公開するとともに、世界のおもしろい植物の果実や種子の展示、植物講座やミニ体験なども実施した。
今回の展示で、一人でも多くの方が植物の世界により興味をもつとともに、自然を大切にすることを育んでいただけると幸いである。
(※今回の展示は、シリーズの前編という位置付けである。)
2. 会期 令和6年(2024年)4月25日(木)～6月16日(日) (予定)
開館時間 9:00～16:30
入館は16:00まで。月曜休館（月曜が祝日の場合は火曜休館）
※4月29日(月)、5月6日(月)は開館
3. 会場 山口県立山口博物館 3階展示室
4. 主催 山口県立山口博物館
5. 観覧料 常設展観覧料（一般150円、学生100円）
※70歳以上、18歳以下、小・中・高等学校・中等教育学校・総合支援学校（特別支援学校）等に在籍する児童生徒は無料
6. 内容 (1) プロローグ
・山口県の自然や絶景を映像や画像で紹介
(2) やまぐちの植物さんぽに出かけよう！
① やまぐちのすごい植物たち
・県内の絶滅危惧種や天然記念物の貴重な植物を紹介
② やまぐちあちこち植物めぐり
・県内各地の植物を画像や映像、標本などで展示
(3) やまぐちの、日本の植物研究はここから始まった！？
・牧野富太郎博士などの明治時代の標本や当時の新聞記事を展示
(4) やまぐち周辺の植物さんぽ（九州北部編）
・山口県の周辺県（九州方面）の貴重な植物や景観を紹介
(5) 植物っておもしろいね、ふしぎだね！
・沖縄&世界のふしぎな植物、やまぐちの植物カルタ、クイズなど
7. 関連イベント
(1) 植物分野の教育普及講座（会期中2回）
・「葉脈標本のしおりやミニ図鑑をつくろう！」（5月25日(土)）
・「植物標本をつくって調べよう！入門編」（6月8日(土)）
(2) 植物に関するミニ体験（不定期開催）
・「世界のふしぎな実やタネにふれよう」、「植物のしおりをつくろう」などの体験活動を展示会場で期間中に実施

8. 展示の様子



① 企画展入口付近



② 牧野富太郎などの貴重な標本



③ 展示前半の様子



④ 展示後半の様子



⑤ ミニ体験のさわれる果実や種子



⑥ やまぐち植物カルタの体験（大学生）

9 関連イベントの実施状況

(1) 植物分野の教育普及講座（会期中2回）

- ・「葉脈標本のしおりやミニ図鑑をつくろう！」（5月25日（土））

参加者数・・・6組15人

- ・「植物標本をつくって調べよう！入門編」（6月8日（土））

参加者数・・・8組18人

(2) 植物に関するミニ体験（会期中の土日に、不定期開催）

- ・ミニ体験①「世界のふしぎな実やタネにふれよう」

会期中に計15回実施・・・参加者延べ人数（幼稚園を含む） 207人

- ・ミニ体験②「植物のしおりをつくろう（実やタネにもふれよう）」

会期中に1回実施・・・参加者人数32人

※ミニ体験①②の合計実施回数17回、合計参加者数（延べ人数） 239人

(3) クロスワードクイズ（なっとくんからの挑戦状：缶バッジプレゼント）

- ・参加者数（参加賞の缶バッジプレゼント数） 計261人

サイエンスやまぐち 2024

開催報告

1 趣 旨

児童生徒たちの常日頃の研究成果を、作品の展示や研究発表会を通して広く県民の方々に見ていただく場を提供し、その成果を顕彰することにより、青少年はもとより県民の自然や科学への関心を深め、科学活動が活発となることをめざすもの。

2 主 催 山口県、山口県教育委員会

3 共 催 一般社団法人山口県発明協会、山口県小学校教育研究会理科部、山口県中学校教育研究会理科部、山口県高等学校教育研究会理化部会、山口県高等学校教育研究会生物部会

4 会 期 令和6年10月25日(金)から11月10日(日)まで(15日間開催)
(開場時間 午前9時から午後4時30分まで 入場は午後4時まで)
※10/25(金)は総合開会式後に開場 10/28(月)、11/5(火)は休館日

5 会 場 山口県立山口博物館(山口市春日町8-2)

6 観覧料 常設展入館料に含む。一般150円(団体120円)、学生100円(団体80円)。
18歳以下及び70歳以上、小・中・高等学校・中等教育学校・特別支援学校等に在籍する児童生徒は無料。団体は20名以上。
※11月1日(金)から7日(木)までは、教育・文化週間のため、すべての入館者が無料。
11月8日(金)から10日(日)までは、「こどもや子育てにやさしい休み方改革月間」のため、こども連れ(高校生年代(18歳に達する日以降の最初の3月31日)までにある者を連れて入館するグループ)は無料。

7 内 容

児童生徒の研究成果を顕彰する取組として、科学作品展と科学研究発表会を開催する。また、開催初日には総合開会式(表彰)を行う。

(1) 第78回山口県科学作品展

自然の部 県内の児童生徒が行った自然に関する観察・実験などの研究物
159点
創造の部 県内の児童生徒が創意工夫した生活用具や遊び道具など 39点
審 査 令和6年10月9日(水)

(2) 第78回山口県科学研究発表会

県内の児童生徒の科学に関する研究発表作品を、資料・DVDの形で募集し、審査する。入賞作品は科学作品展の会場で公開する。
審 査 令和6年10月10日(木)

(3) 総合開会式(表彰)

科学作品展と科学研究発表会の優秀作品の表彰と、受賞者本人による解説を実施する。
日 時 令和6年10月25日(金) 午前10時から10時30分まで

3 調査・研究

(1) 調査研究課題

天文学部門

岩村 和政

- 山口県内の天文資料・落下隕石・古天文機器調査
- 天文展示資料、教育普及活動についての調査研究
- 大型望遠鏡を活用した天体写真や映像配信に関する調査研究

地学部門

赤崎 英里

- 山口県の岩石資料調査
- 岩石・鉱物の有効な展示方法についての研究

植物学部門

杉江 喜寿

- 山口県産植物の分布・生態調査
- 植物収蔵資料のデータベース化とその活用
- 植物資料の効果的な展示や博物館教育及び教育普及活動への活用についての研究

動物学部門

大森 鑑能

- 山口県内に生息する陸生哺乳類の分布状況や生態の調査
- 山口県内の動物の標本、文献、情報のデータ化
- 動物分野の効果的な展示や活用、教育普及活動についての研究

考古学部門

阿部 来

- 山口県内の遺跡に関する調査・研究
- 歴史時代の考古資料に関する研究
- 考古分野の効果的な展示や活用、教育普及活動についての研究

歴史学部門

山田 稔

- 萩藩絵図方に関する調査研究
- 近世防長の街道関係資料調査
- 絵図を利用した教育普及事業に関する研究

理工学部門

漁 剛志

- 山口県の産業に関する調査・研究
- 科学技術史に関する調査・研究
- 固体表面物性に関する最新動向調査

(2) 研究発表・著作

岩村 和政

- 2024. 4 「春のメシエマラソン」サンデー山口（4月3日号）
- 2024. 4 「春のメシエマラソン」宇部日報（4月17日号）
- 2024. 6 「日本でもオーロラが見えた！」宇部日報（6月12日号）
- 2024. 8 「「山口県から見た星座」写真完成！」宇部日報（9月4日号）
- 2024. 12 「冬の大大三角？」サンデー山口（12月4日号）
- 2025. 3 「天文資料のデジタル・アーカイブ化の取組」山口県立山口博物館研究報告第51号

赤崎 英里

- 2024. 4 「鉱物の楽しみ方ガイド ③光沢」宇部日報（ほっとやまはくタイム61：4月4日掲載）
- 2024. 6 「ピンク色の鉱物「菱マンガン鉱」」サンデー山口（6月5日号）
- 2024. 8 「暑い季節に火山の話」宇部日報（ほっとやまはくタイム71：8月21日掲載）
- 2024. 12 「水の惑星特有の岩石「花崗岩」」宇部日報（ほっとやまはくタイム79：12月11日掲載）
- 2025. 3 「河山鉱山と岩石・鉱石・鉱床関連図」— 山口県立山口博物館研究報告 第51号

杉江 喜寿

- 2024. 5 「山口県の植物さんぽ（7）春から初夏の長野山（周南市）編 宇部日報（ほっとやまはくタイム63：5月1日掲載）
- 2024. 5 「牧野富太郎博士と山口博物館その2」サンデー山口（5月8日号）
- 2024. 5 「山口県の植物さんぽ（8）企画展「やまぐち植物さんぽ【I】その1」」宇部日報（ほっとやまはくタイム64：5月15日掲載）
- 2024. 5 「山口県の植物さんぽ（9）企画展「やまぐち植物さんぽ【I】その2」」宇部日報（ほっとやまはくタイム65：5月29日掲載）
- 2025. 1 「ジャケツイバラの実と花」サンデー山口（1月8日号）
- 2025. 3 「企画展「やまぐち植物さんぽ【I】～植物って、すごい、おもしろい、ふしぎ～！」の概要報告 山口県立山口博物館研究報告 第51号

大森 鑑能

- 2024. 6 「タヌキに化かされた?!」宇部日報（ほっとやまはくタイム67：6月26日掲載）
- 2024. 6 「ツキノワグマが渋いドングリを食べられるワケ」BEARS JAPAN Vol.25 No. 1 日本クマネットワーク
- 2024. 7 Feeding behavior of wild boars (*Sus scrofa*) in bamboo forests in response to shoot emergence phenology. *Mammal study* 49(3).
- 2024. 7 「初めまして」山口新聞東流西流（7月2日掲載）
- 2024. 7 「今年もこの季節が」山口新聞東流西流（7月9日掲載）
- 2024. 7 「解剖といえば」山口新聞東流西流（7月23日掲載）

- 2024. 7 「くぐり抜け」山口新聞東流西流（7月30日掲載）
- 2024. 8 「土用の丑の日」山口新聞東流西流（8月6日掲載）
- 2024. 8 「サルも落ちる木」山口新聞東流西流（8月13日掲載）
- 2024. 8 「そこじゃない」山口新聞東流西流（8月20日掲載）
- 2024. 8 「自然保護とは」山口新聞東流西流（8月27日掲載）
- 2024. 10 「生き物紹介『イシガケチョウ』」サンデー山口（10月2日号）
- 2024. 10 「なぜ猿は柿を投げるのか」宇部日報（ほっとやまはくタイム76：10月30日掲載）
- 2024. 11 「生き物の不思議『ミラーテスト』」サンデー山口（11月6日号）
- 2024. 11 Quantification of wildlife visits to pig farms via camera traps in Japan. Preventive Veterinary Medicine, 232, 106318.
- 2025. 3 「山口県内におけるスミナガシ (*Dichorragia nesimachus*) の食樹（アワブキ科）の潜在的な自生地推定について」山口県立山口博物館研究報告 第51号

阿部 来

- 2024. 7 「キワ・ラ・ビーチの大石が語る歴史」宇部日報（ほっとやまはくタイム68：7月10日掲載）
- 2024. 9 「お金の価値を決めるのは？新札と中世の銅銭」サンデー山口（9月4日号）
- 2024. 9 「古墳と埴輪が語る、瀬戸内海航路の要衝・下松」宇部日報（ほっとやまはくタイム73：9月18日掲載）
- 2024. 11 「瀬戸内海の開作と中世の海岸線」宇部日報（ほっとやまはくタイム77：11月13日掲載）
- 2024. 11 「笏谷石生活用品の流通と大坂城」『関西近世考古学研究』30
- 2024. 12 「海路の重要拠点、見島」宇部日報（ほっとやまはくタイム80：12月25日掲載）
- 2025. 3 「萩市弘法寺所在の笏谷石灯籠—近世初期日本海海運の一齣—」『山口県立山口博物館研究報告』第50号

山田 稔

- 2024. 10 「県立山口博物館所蔵幕末維新資料ガイド②」宇部日報ほっとやまはくタイム75（10月26日掲載）
- 2024. 11 「毛利家ルーツの品が見つかりました！？」宇部日報ほっとやまはくタイム78（11月27日掲載）
- 2024. 11 山口県地方史学会創立70周年記念報告集『近世大名家臣「一門」への視座』所収「吉敷毛利氏の残影—その文化財的アプローチから—」
- 2025. 3 「肥中街道の一里塚」サンデー山口おもしろ小箱No.263（3月5日号）
- 2025. 3 「山口県立山口博物館所蔵絵図資料ガイド」（山口県立山口博物館研究報告第51号）

漁 剛志

- 2024. 7 「伝統文化を受け継ぎつなぐ一次代につなぐ山口県の「ものづくり」カー」（山口県教育 令和6年7・8月号 No.1347）
- 2024. 7 「2000年以上も使われ続ける技術」サンデー山口（7月3日号）
- 2024. 7 特別展「大解剖！からくりワールド」がオープンします」宇部日報（ほっとやまはくタイム69 7月24日掲載）
- 2024. 8 「ものづくりを楽しもう！」サンデー山口（8月7日号）
- 2024. 8 特別展「大解剖！からくりワールド」がオープンしました」宇部日報（ほっとやまはくタイム70 8月7日掲載）
- 2025. 3 「地域の魅力発信 特別展「大解剖！からくりワールド」の開催報告」（山口県立山口博物館研究報告第51号）

4 教育普及

(1) 教育普及講座

講座等（令和6年度）

部門	講座名・内容	実施日	場所	対象	受講者
天文	春のメシエ天体を見る会 講師：岩村和政（山口博物館）	5・11	当館（屋上）	一般	※
	夏の星空を見る会 講師：岩村和政（山口博物館）	8・31	当館（屋上）	一般	61
	はじめての望遠鏡 講師：岩村和政（山口博物館）	11・9	当館 （別館・屋上）	一般	24
	月と土星の接近を見る会 講師：岩村和政（山口博物館）	12・8	当館（屋上）	一般	45
	惑星を見る会 講師：岩村和政（山口博物館）	1・18	当館（屋上）	一般	54
地学	地学教室①「岩石・鉱物をみがいてみよう！」 講師：赤崎 英里（山口博物館）	6・16	当館（別館）	一般 （5歳以上）	15
	地学教室②「スライスした岩石を観察しよう」 講師：赤崎 英里（山口博物館）	10・20	当館（別館）	一般 （小3以上）	18
	地学教室③「鉱物テラリウムをつくろう」 講師：赤崎 英里（山口博物館）	3・8	当館（別館）	一般 （中学生以上）	20
植物	植物教室①「植物標本を作って調べよう！入門編」 講師：杉江 喜寿（山口博物館）	5・25	当館（別館）	一般	15
	植物教室②「葉脈標本のしおりやミニ図鑑をつくろう！」 講師：杉江 喜寿（山口博物館）	6・8	当館（別館）	一般	18
	植物教室③「落ち葉や押し花でランタンをつくろう！」 講師：杉江 喜寿（山口博物館）	11・16	当館（別館）	一般	27
動物	初夏の昆虫観察 講師：大森 鑑能（山口博物館）	6・2	鴻ノ峰	小学生	18
	夏の昆虫採集と標本作り 講師：大森 鑑能（山口博物館）	7・20 ～21	当館（別館）・ 周辺	小学生以上	44
	秋の昆虫観察 講師：大森 鑑能（山口博物館）	9・29	鴻ノ峰	小学生	27
	里山の動物観察会 講師：大森 鑑能（山口博物館）	3・23	当館（別館）・ 周辺里山	小学生以上	25
考古	埴輪をつくろう！ 講師：阿部 来	5・26	当館（別館）	小学生以上	20
	勾玉をつくろう！ 講師：阿部 来	8・2	当館（別館）	小学生以上	20
	古代ウォーク 講師：横山 成己 氏、水久保 祥子 氏 （山口大学埋蔵文化財資料館）	10・5	下松市	小学生以上	18

歴史	古地図を片手に街を歩こうー肥中街道・山口編ー 講師：山田 稔（山口博物館）	5・18	山口市	一般	10
	古地図を片手に街を歩こう ー萩往還・山口町編ー 講師：山田 稔（山口博物館）	10・6	山口市	一般	11
	まちなか探検！親子で楽しむ・古地図を片手に街を歩こうー萩往還・山口編ー 講師：山田 稔（山口博物館）	11・24	山口市	一般 (小3以上)	14
理工	ロボットプログラミング教室（初級） 講師：漁 剛志（山口博物館）	6・9	当館（別館）	一般	52
	科学工作講座 講師：漁 剛志（山口博物館）	8・7 ～8	当館（別館）	一般	52
	ロボットプログラミング教室（中級） 講師：漁 剛志（山口博物館）	11・1	当館（別館）	一般	5
	雪の結晶をつくろう！ 講師：漁 剛志（山口博物館）	12・14	当館（別館）	一般	22
参加者数 合計					636

※ 天候不順により中止

(2) 学芸員派遣・社会貢献

岩村 和政

- ・日本のクリスマスは山口から実行委員（山口商工会議所）
- ・こども読書週間イベント「簡単な望遠鏡をつくろう！」講師（2024. 5. 18 山口県立山口図書館）
- ・防府市視聴覚ライブラリー「スマートフォン・タブレットによる星景写真入門」講師（2025. 3. 9 防府市青少年科学館）

赤崎 英里

- ・「令和6年度長門峡で学ぶ！高等学校理科（地学）研修講座」講師（2024. 9. 27 やまぐち総合教育支援センター）
- ・「令和6年度市民大学講座 第5回 岩国を鉱物の目線で見よう」講師（2024. 10. 22 岩国市教育委員会）
- ・柳井市小田家住宅近代和風建築等総合調査における石材調査（2024. 12. 13 柳井市教育委員会）
- ・山口大学・美祢市パートナーシップ事業運営協議会監事
- ・山口地学会事務局

杉江 喜寿

- ・山口県希少動植物調査検討専門部会員（山口県自然保護課）
- ・美祢市立秋吉台科学博物館基本構想策定委員
- ・美祢市立秋吉台科学博物館協議会委員
- ・山口大学理学部博物館実習講師（2024. 7. 3）
- ・周南市鹿野子ども会体験講座講師（2024. 8. 9 周南市せせらぎ豊鹿里パーク）
- ・下松市楽しい理科授業づくりセミナー講師（2024. 11. 22 下松市教育研究会）

大森 鑑能

- ・西中国山地ツキノワグマ保護管理対策協議会科学部会委員（山口県・広島県・島根県）
- ・山口県イノシシ対策検討会委員（山口県自然保護課）
- ・山口県シカ対策検討会委員（山口県自然保護課）
- ・山口県サル対策検討会委員（山口県自然保護課）
- ・岐阜県特定鳥獣保護管理計画検討会科学部会委員
- ・日本クマネットワーク ツキノワグマトランクキット・副コーディネーター
- ・山口県立岩国高等学校坂上分校出前授業講師「クマとの付き合い方を考える」（2024. 12. 5 坂上分校）

阿部 来

- ・山口県地方史学会幹事
- ・山口大学博物館実習講師

山田 稔

- ・山口県立大学非常勤講師（博物館学内実習Ⅱ）
- ・下関市立歴史博物館協議会委員
- ・下関市文化財保護審議会委員
- ・岩国市博物館整備検討委員会委員
- ・毛利博物館資料評価委員
- ・山口県地方史学会理事
- ・放送大学面接授業講師（2024. 5. 25～26 放送大学山口学習センター、吉敷市街地）
- ・美東町文化研究会講演講師（2024. 6. 12 美東文化センター）
- ・山口県新規採用職員過程研修講師（2024.10 ビデオ、山口県）

漁 剛志

- ・少年少女発明クラブ中国ブロック内合同研修会 講師（2024. 9. 26 山口市）
- ・2024やまぐち発明くふう展審査員（2024. 9. 27 山口県発明協会）
- ・第2回やまぐちU15科学アイデア作品・研究コンテスト 審査委員（2024. 10. 5 防府市青少年科学館ソラール）
- ・サイエンスやまぐち2024創造の部審査員（2024. 10. 9 山口県立山口博物館）
- ・2024やまぐち未来の科学夢絵画展審査員（2024. 10. 17 CS赤レンガ）
- ・岩国市科学センター運営協議会委員

(3) レファレンス

教育普及活動の一環として、各部門の学芸員によるレファレンスサービスを行っている。

電話・郵便・来館いづれでも随時受け付けている。

個人では小学生から成人まで、団体では学校、各種機関、企業、報道機関等多方面から相談が寄せられている。

各分野の学術的な質問、館蔵資料についての問い合わせ、資料の同定依頼等が多い。

なお、考古・歴史資料の鑑定依頼は受け付けていない。

※分野別の件数等については、Ⅲ 令和6年度利用状況及び年次推移 (6) レファレンスその他の実施状況に記載

(4) 学校や地域団体への教育支援

博物館と学校・地域との連携を進めるために、平成16年度から以下の事業を実施している(地域との連携事業については平成19年度から)。令和5年度4月までは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、社会見学等の来館対応では、同時刻に2団体以上の受け入れをしない、団体間の時間を1時間以上空ける、入館前の検温、体調チェックを徹底する、等の対策を実施したが、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、令和5年5月以降は、これらの制限等を撤廃した。

① 出前授業

学芸員や長期研修教員(ミュージアム・ティーチャー)が学校等に行き、収蔵資料や機器等を可能な範囲で活用しながら、より質の高い授業になるように、学校等の教育活動を支援した。

教科の学習や総合的な学習の時間、資料展示(ミニ博物館)など、学習内容などを協議して実施し、令和6年度にはドローンプログラミング教室、ロボットプログラミング教室、昆虫教室、化石レプリカづくり、天体観測、勾玉づくりなどのプログラムを、小・中学校、地域団体など269団体のべ5,587人に実施した。

② 社会見学などに関する対応

社会見学などの団体見学に対し、担当者による館内案内や展示の解説、ワークシートなどを利用しての学習を行っている。令和6年度には、小学校、中学校、特別支援学校、地域団体など155団体、3,695名の利用があった。

③ 職場体験学習への対応

施設見学や学芸員の解説、社会見学ガイド実習等、各種体験活動をとおして、学芸員の仕事や博物館の機能について学習している。令和6年度は中学校1校3名を受け入れた。

④ 館内授業

学習内容に沿って、展示資料や収蔵資料などを活用し、館内授業を行っている。令和6年度は、化石レプリカづくり、ロボットプログラミング、などのプログラムを小学校、中学校など6校、137名に実施した。

⑤ 教材貸出

小・中学校用の学習教材の開発を手がけている。研修教員が出前授業等で使用する教材、学校が各教科や総合的な学習の時間等で使用する教育用資料を準備した。令和6年度は、44団体への貸出を行った。

⑥ 学習コーナー

学習コーナーとして、既存の図書約900冊を用意し、各分野の学習ができる環境を整備している。コーナーの一部には山口県の自然や歴史・科学・宇宙などに広く関心をもたせるために「なっとくんニュース」や出前授業制作品を展示した。

⑦ 長期研修教員(ミュージアム・ティーチャー)

令和6年度は、中学校教諭(1名)、中学校教頭(1名)の2名が1年間研修を行った。研修内容は、博物館学校地域連携教育支援事業の実施を通じての博物

館の機能に関する一般的な研修、専門的な研修、県内外の博物館視察、報告書の作成などである。

⑧ 教員のための博物館の日（博物館一日体験研修）

小・中・高等学校の教員計59名が一日の研修を行った。研修内容は、博物館機能の解説講義、博物館学校地域連携教育支援事業の実践報告、特別展・館内見学、実習である。

⑨ 博物館学校地域連携推進会議

平成22年度から、前ミュージアム・ティーチャーと当館学芸員とがこれまでの活動を振り返りながら、博物館の人的物的な教育資源を今まで以上に有効に活用して、学校や地域のニーズに対応した質の高いプログラムを提供することを目的とする「博物館学校地域連携推進会議」を開催している。

⑩ 広報活動

博物館学校地域連携教育支援事業の活用を推進するために以下の活動を行ってきた。

- ・各地域の校長会や小・中学校の理科部会などに出向いて本事業の紹介
- ・「博物館ガイド」、「事業報告書」配付、月1回の「博物館だより」配信、ホームページ掲載
- ・広報誌「なるほどなっとくニュース」を発行、ホームページ掲載

(5) サポーター制度

サポーター制度は、山口博物館の理念や活動に共感し、ともに山口博物館を作っていこうという意志を有する方に登録いただき、博物館の取組等に対する様々なサポート活動を行っている。

令和7年3月末の登録者数は44名である。令和6年度の活動はのべ100日以上、のべ600名以上のサポーターが活動をした。今年度の各分野別の活動状況を報告する。

① 天文部門サポーター活動

天体観望会など教育普及の天文行事の実施サポートを行った。観望会の準備、望遠鏡の操作、観望会一般参加者の受付・案内・誘導、観望会での解説、観望会の片付けなどで、その他望遠鏡のメンテナンスや資料整理のサポート活動を行った。天体観望会や天文ワークショップなど年間12回実施し、のべ76人の天文サポーターが活動した。



望遠鏡操作練習の様子



天文ワークショップの様子

② 理工部門サポーター活動

教育普及講座や特別展などで使用する教材の開発や行事のサポート及び収蔵資料の整理や清掃を毎週金曜日及び教育普及行事当日に活動を行った。のべ73人の理工サポーターが活動した。



「ロボットプログラミング」での指導補助



「雪の結晶をつくろう」での指導

③ 植物部門サポーター活動

植物標本作成（台紙への貼り付け作業など）、植物標本のデータ整理（標本の確認、パソコンへのデータ入力など）、植物標本の配架作業（標本棚への配架や標本の検索・確認など）を行う全体的な活動日を毎月の最終水曜日と定め活動を行った。植物標本のデータ整理・入力では、毎週水曜日に活動を実施した。教育普及講座（植物講座）のサポート活動を含めて、のべ44回、164人の植物サポーターが活動した。

令和6年度も、明治・大正時代などに作製されて当館に保管されていた貴重な植物標本の確認・整理及び修復作業を実施した。（令和5年度から開始）



植物標本の確認・整理、修復



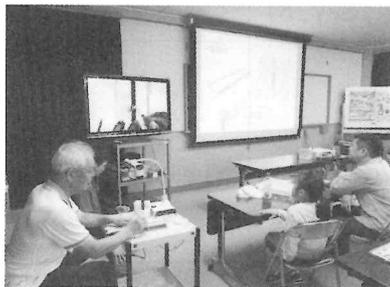
植物標本のデータ入力



植物講座のサポート

④ 動物部門サポーター活動

毎週木曜をサポーター活動日と定め、標本の整理や登録作業などを行った。のべ36回、301人のサポーターが参加した。また、教育普及行事のサポート活動を行い、講師として、参加者の指導と安全管理を行った。地域のインベントリー調査として2015年から計測している山口市鴻ノ峰における生物調査に加え、萩市旭水の森における生物調査を新たに開始した。



夏の昆虫採集と標本作り講師として活動



旭水の森における生物調査

⑤ 地学部門サポーター活動

1名が活動し、不定期で資料整理を行った。

5 その他

(1) 刊行物

山口県立山口博物館研究報告 第51号

当館職員の研究報告で、年1回発行。配布先は全国の博物館、大学、その他の研究機関。

発行部数 650部、B5判、84頁、2025年3月発行

山口県の自然 第85号

山口県の自然に関する報告誌。令和6年度は、当館Webページでのみ公開とし、印刷・配布はしていない。令和7年度以降は発行休止の予定。A4判25頁、2025年3月発行

山口県立山口博物館館報 第46号

令和5年度の博物館事業の報告書。配布先は県内の小・中・高・大学、博物館、図書館で、県外は当館と関連のある研究・教育機関。

発行部数 800部、A4判、59頁、2024年11月発行

博物館学校地域連携教育支援事業報告書(令和6年度版)

令和6年度の博物館学校地域連携教育支援事業の報告書は、利用案内・長期研修報告として県内の小・中学校等に配布。520部、A4判、48頁、2025年3月発行

(2) 博物館実習・インターンシップ・社会体験研修

学校名	人数(人)	期間	内容
博物館実習 九州産業大学 広島大学 山口大学 龍谷大学	1 1 1 1	8/5～9	学芸専門、展示・講座実習等
インターンシップ 山口県立大学 島根大学 山口県立防府西高等学校	1 1 3	8/5～9 (高校は8/7、8)	博物館業務体験
中堅教諭等資質向上研修 山口市立阿知須中学校 山口市立宮野中学校 山口市立大内小学校 山口市立白石小学校	1 1 1 2	8/5～9	博物館業務体験

(3) 山口県博物館協会(事務局:山口県立山口博物館)

山口県博物館協会は、昭和38年に発足している。現在、山口県内の多くの博物館等が加盟しており、令和6年度末の加盟館数は60館園等となっている。

協会の事業は、年1回の総会をはじめ、研修会、各種刊行物の発行など多岐にわ

たっており、加盟館相互の連携を図りつつ、博物館事業の普及発展を目的として活動を行っている。

山口博物館は、協会発足以来、会長館・事務局を務めている。平成25年度には創立50周年記念式典を挙行了した。

(4) 日本博物館協会中国支部

(事務局：R 6～R 7 山口県立山口博物館)

日本博物館協会中国支部は昭和49年に発足し、中国5県に所在する博物館協会の会員により構成しており、令和6年度末の加盟館数は77館園となっている。

支部の事業としては、年1回の総会をはじめ、研修会、会報の発行などがあり、中国地区内の館園相互の連携を図り、教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的として活動を行っている。

令和6年度は、役員会・総会が、防府市地域交流センター アスピラート（山口県防府市）にて開催された。研修会は島根県民会館にて開催された。

山口博物館は、令和6年度は事務局を務めた。

V 基本方針と令和7年度の事業概要

1 基本方針

(1) 文化の継承と発展に努める

本県は古くから大陸との交流において大きな役割を果たし、特色ある文化を育んできた。当博物館は、様々な活動を通じて山口県の自然と歴史を調査研究し、本県文化の継承と発展・創造に寄与する資料を収集・保管し必要に応じて提供する。

(2) 人文系と自然、理工系の総合博物館として活動する

人文系及び自然、理工系をあわせ有する博物館として、その特色を生かしながら、郷土色豊かな総合博物館としての発展をめざす。

(3) 豊かな心を育み人づくりに資する施設として貢献する

心の豊かさと、創造性に富む人づくりの推進の一翼を担う社会教育施設として、活発な活動を行う。

(4) 多彩な博物館活動を行う

- ・ 資料の収集・保管に努める。
- ・ 資料の調査・研究に努める。
- ・ 展示活動の充実を図る。
- ・ 普及教育活動の充実を図る。

(5) 改正博物館法の趣旨を踏まえた取組を展開する

- ・ 地域の多様な組織・団体との連携・協力により博物館活動を促進する。
- ・ 調査・研究、展示活動等のデジタル・アーカイブを充実させる。
- ・ 博物館活動をとおりて山口県の魅力を発信し、地域の活力向上に貢献する。

2 令和7年度の重点取組事項

収蔵資料等のデジタル・アーカイブを活用し、学べる機会の拡充を図る。

各種講座の安全な実施をはじめ、所蔵資料の活用や他館・大学・団体等との連携を図りながら、地域との連携や地域の再発見を進める展示に力を入れる。

- ・ デジタル・アーカイブの充実
- ・ 地域と連携する展示
- ・ 県民参加の促進

(1) 特別展や企画展など年間を通じて多彩な展覧会を開催する

◇特別展 山陽新幹線全線開業50周年記念「山陽新幹線50年展」の開催

- ・ 山陽新幹線全線開業50周年を記念して、京都鉄道博物館と共催で新幹線の歴史と特徴をゆかりの資料でたどる特別展を開催する。

◇企画展の開催

① 「やまぐち植物さんぽ【その2】 絶景×植物×「お宝」標本

- ・ 山口県や周辺県の植物を中心に、そのすごさやおもしろさ、ふしぎさをそれぞれの地域の美しい景観とともに紹介

② 「中世山口への海と道」

- ・ 中世の周防・長門が果たした国際交流や海上交易の実像を発掘資料などを通じて紹介する。

◇バーチャル博物館やオンライン授業の充実

- ・ 文化資源のデジタル化（バーチャル収蔵庫）を含むデジタル山口博物館の充実
- ・ デジタル松下村塾等の展示収蔵資料を活用したオンライン授業

(2) 教育普及活動や博学連携事業を安全かつ効果的に実施する

- ◇タイムリーかつ幅広い年齢層を対象とした講座の企画・実施
- ◇MT（ミュージアム・ティーチャー）と学芸員の連携による出前授業等の実施
- ◇デジタルデータの活用による各種講座の内容充実、オンライン授業の実施・支援
- ◇博物館活動を支える県民によるサポーター活動の実施

(3) リアル・バーチャル両面の展示環境を整える

- ◇ホームページ上のバーチャル展示「バーチャル山口博物館」の充実
- ◇老朽化した施設・設備の適切な維持管理

(4) 情報発信を強化する

- ◇SNS（フェイスブック、インスタグラム）による発信
- ◇展示資料や山口県に関するメモリアルデイ等を活用した情報発信
- ◇常設展・企画展における情報発信の強化

3 達成指標

(1) 総利用者数（入館・教育普及・レファレンス・出前授業）

→ 過去3年間(令和4年度～6年度)の平均値超

(2) リアル博物館満足度

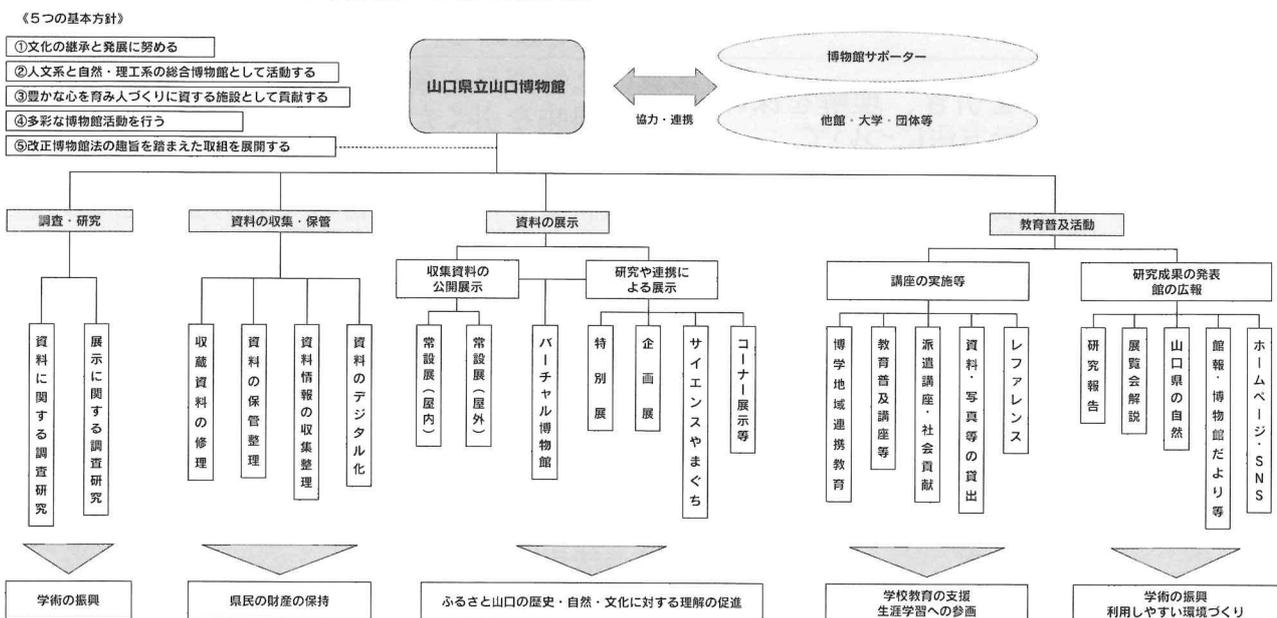
- ◇特別展来館者満足度（とても良かった・良かった）
→ 過去3年間(令和4年度～6年度)の平均値超
- ◇**新**教育普及講座参加者満足度 → 5段階評価平均値 4.5超
- ◇**新**博学地域連携事業事後アンケート満足度（とても良かった・良かった）
→ 90%超

(3) 情報発信度

- ・記者発表件数 → 前年度超
- ・SNS（Face Bookやインスタグラム）閲覧件数 → 前年度超

4 機能

★山口博物館の基本方針と活動体系★



5 博物館活動の展開

基本方針を基調として、下記の各事業活動を実施する。

ア 調査・研究

調査・研究は、博物館活動の基礎となる事業である。その成果は、学術論文や当館の刊行物として公表されるばかりではなく、展示・講座・観察会などに生かされる。山口県の自然・科学・歴史を明らかにする目的で、多様な視点から研究を行う。

総合研究

山口県の自然や科学の現状と歴史を把握し、その起源と成立過程を明らかにすることを目的として、広い領域を対象とした共同研究を行う。

総合研究① 新しい時代の博物館活動に関する総合的研究

総合研究② 山口県の自然と文化に関する総合的研究

重点研究

山口県の自然・科学・歴史及び博物館活動に関する今日的な課題を総合研究の課題に準じて設定し、短期集中的に調査し研究を行うプロジェクト研究を行う。今年度は総合研究①の課題に準じて重点研究①、総合研究②の課題に準じて重点研究②の研究を行う。

重点研究① 山口博物館の歴史と新しい博物館像に関する調査研究

重点研究② 榎野川流域における歴史・自然・科学の総合学術研究

専門研究

学芸員・研究員が専門的なテーマについて、より深く探究することを目的に研究する。

担当	研究分類	課題	内容
岩村 (天文)	重点①	新しい時代の学校教育やボランティア活動について	中学校部活動の地域移行の在り方について情報収集をし、ボランティアや天文台との連携を探る。
	専門	天体写真の撮影方法や映像のライブ配信についての研究	大型望遠鏡とカメラの接続や撮影方法について研究し、天体写真資料をデータベース化する。また観望会などで、ライブ配信などを活用して情報発信を進める。
赤崎 (地学)	重点①	興味を引き、理解を深める展示方法について	多数の鉱物資料を観点別にグループ化して展示する。興味を引くだけでなく、理解を深める展示方法について探る。
	専門	岩石資料・化石資料の収集と整理・活用について	新たに収集した資料を含めて資料整理を進め、展示や教育普及講座での活用方法を探る。
杉江 (植物)	重点①	植物分野関係資料の効果的な展示についての調査研究	スペースの限られた展示室の中で、展示物の配置や展示装置、機器などの工夫によって、わかりやすく興味深い情報をより効果的に展示する。
	専門	山口県産植物の分布調査や収集資料の見直し、及び効率的なデータベース化の研究	山口県産植物の分布調査や収集資料の見直し、標本整理、資料のデータベース化を進め、山口県産植物の分布の実態を明らかにするとともに資料の活用を進める。

	重点①	山口県産植物に関する調査結果の県民への情報発信及び効果的な活用に関する研究	身近で貴重な山口県の植物の調査結果を発信し、また教育普及活動などで活用していくことで、植物への興味だけでなく山口県の自然への興味関心を高める。
大森 (動物)	重点①	山口県の動物に関する標本・文献・情報データのマップ化	山口県の動物に関するデータの詳細な位置情報を整理し、分布の経年変化や潜在的な生息地の推定を行う。
	専門	山口県の哺乳類の生息分布・生態調査研究	哺乳類の生息状況を自動撮影カメラにより把握し、県内の分布実態を明らかにする。
	専門	鳥獣害対策に関する情報発信と普及啓発	人と野生動物間の軋轢の軽減に向けて、科学的知見に基づいた情報を発信し、県民の野生動物に対する理解促進を促す。
阿部 (考古)	重点①	山口県内の遺跡に関する調査研究	県内遺跡の踏査を通じて、地形の観察や復元を行い、企画展やイベントなどに成果を活用する。
	専門	考古資料の総合的把握についての研究	多種の考古資料について蓄積された成果をデータベース化するとともに、時空間での整理を通じて、社会復元を試みる。
	専門	資料の3次元データに関する研究について	3次元データの作成を通じて、調査研究の精度向上や活用に関する知見を深める。
山田 (歴史)	重点①	歴史分野における古文書の効果的展示方法に関する研究	古文書の展示について、AV機器等を駆使した展示装置や解説など効果的な展示方法について研究する。
	専門	萩藩絵図方に関する調査研究	萩藩絵図方の活動や作品に関する調査研究を行う(継続)。同時に郡方地理図師有馬基惣太の事績について調査研究を進め、講座や展示に反映させる。
	専門	絵図を利用した教育普及事業に関する研究	江戸時代の絵図を利用した街道と史跡を歩いて巡見する講座の実践と効果的開催方法を研究する。
漁 (理工)	重点①	科学技術史における県内産業の位置づけとその動向	県内産業と科学技術史との関連について調査する。
	専門	理工収集資料体系の構築	全国的にも数少ない理工系博物館として、技術史全般を検討し、それに沿って収集資料を整理する。
	専門	デバイス材料の表面物性研究	表面物性科学の最先端研究や動向等を調査する。

イ 資料の収集・保管

(ア) 収集

当館の資料基準にもとづいて、資料の収集を行う。

資料の収集は原資料を原則とするが、展示の必要に応じて複製・模型・模写・写真・フィルム等も収集する。

本県の歴史や自然に関し、学術的・文化的・教育的な価値の高い参考資料も本館設の目的に照らし、その確保に努める。

(イ) 保存・管理

収集資料は、分類・整理のうえ、収蔵庫において保存・管理し、資料の保管と出納の円滑化を図る。また、定期的に資料の燻蒸消毒や全館燻蒸を実施して虫害・菌害を防止し、空調設備による温・湿度の調整を行って資料を保管に万全を期す。

ウ 資料展示

(ア) 常設展

天文・地学・植物・動物・考古・歴史・理工の7部門について、次の常設展示を行う。

- ・天文・・・宇宙の構成や隕石、天文学史などの天文資料
- ・地学・・・県内を中心とした岩石・化石・鉱物などの地学関係資料
- ・植物・・・県内を中心とした植物標本など植物生態関係資料
- ・動物・・・県内を中心とした脊椎動物・昆虫・貝類標本などの動物資料
- ・考古・・・県内外の遺跡出土品を中心とした考古関係資料
- ・歴史・・・古代から近・現代にいたる山口県の歴史を明らかにする資料
- ・理工・・・2階はロボットコーナー・科学技術史資料・すご技！やまぐちコーナー、未来エネルギー模型など。3階は山口線運転シミュレータ等の体験ができる展示物を中心とした理工関係資料

(イ) 特別展・企画展

県民の知的ニーズに応えるため、学芸員の調査研究に基づいた企画性の高い、内容のより充実した特別展及びテーマ展を開催する。

(ウ) サイエンスやまぐち2025

青少年の科学に関する関心を深め、科学する心を育み、その研究心を振興するために「サイエンスやまぐち」を開催する。

エ 教育普及活動

生涯学習の必要性が高まり、その充実が図られている現在、博物館（学芸員と2名の長期研修教員（ミュージアム・ティーチャー））も児童生徒のみならず広く一般県民を対象として次の諸活動を行う。

- (ア) 解説案内 要望に応じて、可能な限り学芸員やミュージアム・ティーチャーが展示室の解説案内を行う。また、資料等に関する質問には積極的に対応する。
- (イ) 博物館教室 講習・採集・見学会など各種の学習会を企画開催するほか、各市町・公民館・団体等の要請にもとづき現地学習会を開催する。
- (ウ) 広報出版 館報・研究報告・山口県の自然などの出版活動をとおして、博物館活動を多方面にPRする。
- (エ) 県内類似機関との連携 県博物館協会ほか類似機関との連携を図り、交流を深めながら職員相互の資質向上を図る。
- (オ) 派遣講座 生涯学習充実の一翼を担うため、各市町・公民館・団体等の要請に応じて学芸員を派遣し、部門ごとに専門的な講座を実施する。
- (カ) 博学地域連携 学校等への出前授業や資料貸出、教員研修などに積極的に取り組み、学校・地域との連携を推進する。

6 サポーター制度

サポーター制度により次の諸活動を行う。

- (ア) 展示解説 来館者に対する展示資料の解説や案内・支援を行う。
- (イ) 教育普及 講座の準備、指導補助や安全確保を行う。
- (ウ) 調査研究 標本作製、データ入力、野外での採集などを行う。
- (エ) 資料整理 標本や資料の整理、ラベル作成、データ入力等を行う。
- (オ) サポーター講座 サポーター活動を理解するための講座を開催する。受講によりサポーター活動ができる。

7 施設・設備等の整備促進

博物館活動を充実するため、施設・設備等について計画的に整備を進める。

8 令和7年度事業概要

事業名	目的	内容
博物館運営費	博物館の運営、財産管理、学芸員の調査研究、次年度に開催する特別展の準備を行う。	<ol style="list-style-type: none"> 1 博物館運営協議会の開催、博物館モニターの設置 2 博物館の管理運営、博物館施設整備 3 博物館の機械設備保守点検等委託 4 学芸員の資料調査、研究活動 5 特別展の出品資料調査
博物館整備事業費	博物館活動を充実するため、資料の整備、資料の購入、展示室の維持整備を図る。	<ol style="list-style-type: none"> 1 資料展示保守点検等 2 展示資料 他
博物館学校地域連携教育支援事業	児童生徒や学校現場等に必要とされる資料と人材を提供することにより、学校の教育活動や地域団体の学習活動を支援する。また、一般県民や青少年を対象に各種講座を開始し、県民への学習活動を支援する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校や地域団体への教育支援 <ul style="list-style-type: none"> ・来館利用（社会見学、館内授業、職場体験）の受入と出前授業の実施 ・教材開発、学習プログラムの開発、貸出教材の充実等 ・ホームページ、博物館だより等を活用した広報活動 ・教員研修の充実 2 教育普及活動 <ul style="list-style-type: none"> ・学習ニーズの多様化、高度化に対応した講座（歴史教室、地質めぐり等）の開催 ・青少年の体験学習や学校教育と連携した講座（動物観察会、植物教室等）の開催

9 令和7年度事業計画〈部門別〉

(令和7年(2025年)6月時点のもの)

部門等	行事名・講座名	実施日	
特別展	山陽新幹線全線開業50周年記念 「山陽新幹線50年展」	7月18日(金)～8月31日(日)	
サイエンス やまぐち	サイエンスやまぐち2025第79回山口県科学研究発表会審査会	10月8日(水)	
	サイエンスやまぐち2025第79回山口県科学作品展	10月24日(金)～11月9日(日)	
企画展	やまぐち植物さんぽ【その2】 絶景×植物×「お宝」標本	3月25日(火)～6月1日(日)	
企画展	中世山口への海と道	12月12日(金)～2月8日(日)	
教 育 普 及 講 座 等	【天文】	月のクレーターを見る会	8月1日(金)
		はじめての望遠鏡	11月15日(土)(昼)
		環のない土星を見る会	11月15日(土)(夜)
		皆既月食を見る会	8年3月3日(火)
	【地学】	地学教室①「岩石・鉱物をみがいてみよう！」	6月15日(日)
		地学教室②「スライスした岩石を観察しよう」	10月19日(日)
		地学教室③「鉱物テラリウムをつくろう」	8年3月7日(土)
	【植物】	植物教室①「植物標本をつくって調べよう！ 入門編」	5月31日(土)
		植物教室②「植物標本のしおりやミニ図鑑をつくろう！」	8月30日(土)
		植物教室③「落ち葉や押し花でランタンをつくろう！」	12月6日(土)
	【動物】	初夏の昆虫観察	6月7日(土)
		鹿角クラフト教室	7月19日(土)
		フライングバタフライづくり	9月27日(土)
	【考古】	埴輪をつくろう！	5月24日(土)
		勾玉をつくろう！	8月8日(金)
		やまぐち地域文化フォーラム	9月21日(日)
	【歴史】	古地図を片手に街を歩こう-肥中街道・山口編-	5月18日(日)
		古地図を片手に街を歩こう-萩往還・山口町編-	10月5日(日)
		掛け軸の取り扱い方	11月30日(日)
	【理工】	ロボットプログラミング教室(初級)	6月8日(日)
科学工作講座		8月6日(水)・7日(木)	
雪の結晶をつくろう！		12月13日(金)	
ロボットプログラミング教室(中級)		8年2月8日(日)	

博学地域連携	博物館学校地域連携推進会議	6月20日(金)
	自由研究の進め方教室	7月12日(土)・13日(日)
	教員のための博物館の日（博物館1日体験教室）	8月20日(水)・21日(木) ・22日(金)
大学連携	博物館実習	8月4日(月)～8日(金)
	インターンシップ	8月4日(月)～8日(金)
博物館協議会	第1回山口博物館協議会	11月7日(金)
	第2回山口博物館協議会	2月～3月
博物館協会	山口県博物館協会理事会・総会	5月16日(金)
	日本博物館協会中国支部役員会・総会（山口県）	5月29日(木)・30日(金)
	日本博物館協会中国支部研修会	11月12日(水)・13日(木)
	山口県博物館協会研修会	11月21日(金)
	山口県博物館協会理事会	2月～3月
施設管理	全館消毒	6月9日(月)
	全館停電（休館）	12月27日(土)

※令和7年度の事業計画（次ページ以降も含む）は、令和7年6月現在のものを掲載している。

令和7年（2025年）度特別展「山陽新幹線50年展」開催要項

1. 趣 旨

山陽新幹線が1975(昭和50)年3月10日に新大阪―博多間で全線開通し、2025年は50年を迎えました。0系新幹線から始まり、世界初の300km/hで営業運転をした500系新幹線など、特長ある車両が多くの人を運んできました。全線開通から半世紀を迎え、山陽新幹線の歴史と新幹線電車の特長をゆかりの資料でたどる展覧会を開催します。また、新幹線の製造にも深くかかわっている県内企業などの紹介もします。新幹線の実物資料の展示や体験コーナーなど子どもから大人まで楽しめる内容となります。

2. 会 期 令和7年(2025年)7月18日(金)～8月31日(日) 36日間
(休館日 月・火曜日(祝日、8月12日(火)は開館))

3. 会 場 山口県立山口博物館3階会場(山口市春日町8-2)

4. 入 館 料 一般 1,000円、学生・シニア(70歳以上の方) 650円
有料入館者20名以上の団体(一般 800円、学生・シニア 500円)
18才以下の方及び高等学校、中等教育学校、特別支援学校等に在学する生徒は無料

5. 主 催

山口県、山口県教育委員会、「山陽新幹線50年展」実行委員会(山口県立山口博物館、公益財団法人山口県ひとづくり財団、公益財団法人やまぐち産業振興財団、地方独立行政法人山口県産業技術センター、一般社団法人山口県観光連盟、tysテレビ山口、山口新聞社)

6. 共 催 等

【共 催】京都鉄道博物館

【特別協力】西日本旅客鉄道株式会社中国統括本部

【後 援】NHK山口放送局、エフエム山口、山口ケーブルビジョン、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、中国新聞防長本社、宇部日報社

【特別協賛】富士高圧フレキシブルホース株式会社、公益財団法人日本教育公務員弘済会山口支部、株式会社山口教弘、一般社団法人山口県発明協会、兼安石灰機工株式会社、株式会社エストラスト、株式会社川棚グラン

ドホテルお多福、株式会社瓦そばたかせ、株式会社異設計コンサルタント、株式会社ナルキ、株式会社ファノス、川棚温泉まちづくり株式会社、カワノ工業株式会社、ジェラテリア・バンビーニ、セオサイクル山口店、野田学園中学高等学校、萩山口信用金庫、ファーストテクノ株式会社、前田内装、山口産業株式会社

7. 展示内容

1 新幹線、のびる！ ー山陽新幹線の誕生ー

(1) 新幹線、西へ

敷設工事から開業、現在のあゆみを物語る資料を一挙公開！ 1964(昭和39)年10月1日、東海道新幹線が開業し、1972(昭和47)年3月15日に山陽新幹線が新大阪ー岡山間で開業した。「夢の超特急」とよばれた新幹線のはじまりを時代背景とともに紹介。

(2) 関門海峡を越えた新幹線

ポスター、記念品、記念切符を一挙公開！ 山陽新幹線は、1975(昭和50)年3月10日に博多まで延伸され、新大阪ー博多間が開通した。山陽新幹線全線開通までのドラマをゆかりの資料で紹介。

2 新幹線、走る！ ー山陽新幹線を彩った車両たちー

山陽新幹線は、初代0系からN700系まで、技術の発展とともに新幹線電車は進化してきた。それらの特長を6つのコーナーに分けて、様々な資料で紹介。

(1) 夢の超特急ー0系

(2) 2階建てでより早く快適にー100系

(3) 「のぞみ」登場！ー300系

(4) 初の300km/h運転ー500系

(5) 快適な車内ー700系 7000番台「ひかりレールスター」

(6) 新幹線、九州へ

3 新幹線、楽しむ！ ーお楽しみの回想録ー

鉄道を利用した遠距離旅行は、特急から新幹線へと変わっていきました。これに伴い、人々の旅行の形も変化していきました。コーナーでは山陽新幹線における楽しみを紹介。

(1) 車内販売 (2) 食

4 新幹線とやまぐち！ ー新幹線の製造にかかわっている県内企業の紹介ー

新幹線の製造にかかわっている県内企業や高校生の取組などを紹介。

5 新幹線を体験しよう！

新幹線ジオラマ操作体験（有料）や運転席からの映像を臨場感たっぷり楽しめるイメージムービーで運転士気分を味わおう！ ミニ新幹線乗車体験、運転士やパーサー等の「おしごと体験会」も実施。

8. 総出品予定数

約160点

9. 特別展開催記念出版物

京都鉄道博物館編集 A4 80頁 頒価： 1,500 円

10. 広報・イベント等

【スタンプラリー】

県内の博物館、園、新幹線駅や京都鉄道博物館をめぐり、キーワードを集めてプレゼントをもらう。

【おしごと体験会】

【ギャラリートーク】

など

サイエンスやまぐち 2025

開催要項

1 趣 旨

児童生徒たちの常日頃の研究成果を、作品の展示や研究発表会を通して広く県民の方々に見ていただく場を提供し、その成果を顕彰することにより、青少年はもとより県民の自然や科学への関心を深め、科学活動が活発となることをめざすもの。

2 主 催 山口県、山口県教育委員会

3 共 催 一般社団法人山口県発明協会、山口県小学校教育研究会理科部、山口県中学校教育研究会理科部、山口県高等学校教育研究会理化部会、山口県高等学校教育研究会生物部会

4 会 期 令和7年10月24日(金)～11月9日(日) (15日間開催)
(開場時間 9時～16時30分 入場は16時まで)
※10/24(金)は総合開会式後に開場 10/27(月)、11/4(火)は休館日

5 会 場 山口県立山口博物館 (山口市春日町8-2)

6 観覧料 常設展入館料に含む。一般 200円(団体 160円)、学生 130円(団体 100円)。
18歳以下及び70歳以上、小・中・高等学校・中等教育学校・特別支援学校等に在籍する児童生徒は無料。団体は20名以上。
※ 教育・文化週間中の11月1日(土)～7日(金)までは、すべての入館者が無料。
※ 「こどもや子育てにやさしい休み方改革月間」の11月8日(土)から9日(日)までは、こども連れ(高校生年代(18歳に達する日以降の最初の3月31日まで)にある者を連れて入館するグループ)は無料。

7 内 容

児童生徒の研究成果を顕彰する取組として、科学作品展と科学研究発表会を開催する。また、開催初日には総合開会式(表彰)を行う。

(1) 第79回山口県科学作品展

自然の部 県内の児童生徒が行った自然に関する観察・実験などの研究物
約200点

創造の部 県内の児童生徒が創意工夫した生活用具や遊び道具など 約40点
審 査 令和7年10月8日(水)

(2) 第79回山口県科学研究発表会

県内の児童生徒の科学に関する研究発表作品を、資料・DVDの形で募集し、審査する。入賞作品は科学作品展の会場で公開する。
審 査 令和7年10月9日(木)

(3) 総合開会式(表彰)

科学作品展と科学研究発表会の優秀作品の表彰と、受賞者本人による解説を実施する。

日 時 令和7年10月24日(金) 10:00～10:30

山口県立山口博物館企画展（植物分野） 開催要項

やまぐち植物さんぽ 【その2】

絶景×植物×「お宝」標本

1 趣 旨 植物の世界は奥深く、知れば知るほどすごい、おもしろい、ふしぎな世界が広がっていて、山口県やその周辺にも興味深い植物がたくさんあります。

本展では、2024年春の企画展「やまぐち植物さんぽ【1】～植物って、すごい、おもしろい、ふしぎ！」では紹介しきれなかった山口県や周辺県の植物を中心に、そのすごさやおもしろさ、ふしぎさをそれぞれの地域の美しい景観とともに紹介します。

また今回は、これまで未整理だった当館の収蔵資料から新たに発見・確認されたものなど、植物研究の「お宝」とも言える植物標本の一部を初公開します。日本を代表する植物学者の一人である牧野富太郎（高知県出身、1862～1957）、近代日本の博物学、民俗学の先駆者とも呼ばれる南方熊楠（和歌山県出身 1867～1941）、明治時代に来日したフランス人宣教師で植物学者でもあるフォーリー（Urbain Jean Faurie, 1847～1915）、国立科学博物館館長などを歴任した中井猛之進（現山口高校卒業 1882～1952）などが作製した植物標本や今では採集困難な地域の植物標本など、どれも大変貴重なものです。

さらに屋久島・種子島の植物、世界のおもしろい植物（果実・種子）、県内の身近なふしぎな植物などを展示・紹介するとともに、昨年の企画展でも好評だったやまぐち植物かるた体験、ミニ体験なども実施します。

今回の展示で、一人でも多くの方が植物の世界により興味をもつとともに、自然を大切に作る心を育てていただけると幸いです。

2 会 期 令和7（2025）年3月25日（火）～6月1日（日）

開館時間 9:00～16:30

入館は16:00まで。月曜休館（月曜が祝日の場合は翌日休館）

※4月29日（月）、5月6日（月）は開館

3 会 場 山口県立山口博物館 3階展示室（体験展示室の奥）

4 主 催 山口県立山口博物館

5 後 援 一般社団法人山口県観光連盟、公益社団法人鹿児島県観光連盟

6 観覧料 常設展観覧料に含まれます。

7 内 容 （1） 初公開！明治時代からの「お宝」植物標本

① 植物研究の偉人たちの植物標本（主に新たに発見・確認されたもの）

日本の植物研究の黎明期（明治時代）に活躍した牧野富太郎、南方熊楠、フォーリー（Urbain Jean Faurie）などの貴重な植物標本を初公開

② 明治時代に全国で採集された貴重な植物標本

明治時代に採集された小笠原諸島（東京都）などの植物標本を展示・紹介

(2) さあ、植物さんぽに出かけよう！

今回紹介する山口県の植物と絶景の一部をダイジェスト映像で紹介

(3) やまぐちあちこち植物さんぽ

- ・県内各地の植物をその画像や映像、標本と各地の美しい景観とともに展示
- ・江戸時代に「シーボルト」が上陸した地点で調査した植物も紹介
- ① 上関周辺【上関町】、 ② 周防大島【周防大島町】、
- ③ 寂地山【岩国市】、 ④ 青海島・見島【長門市・萩市】、
- ⑤ 萩城跡、笠山・清ヶ浜【萩市・阿武町】、
- ⑥ 長門峡【山口市・萩市】

(4) 七つのふしぎな植物たち

- ・県内のふしぎでおもしろい植物を七つの特徴で紹介
- ① 花がふしぎ ② 実やタネがふしぎ
- ③ 葉っぱがふしぎ ④ 寄生植物がふしぎ
- ⑤ 食虫植物がふしぎ ⑥ ひつつき虫がふしぎ
- ⑦ ○○がふしぎ

(5) やまぐちのすごい植物たち

- ・県内の貴重な国・県指定の天然記念物、県指定の自然記念物（植物関連のみ）を紹介
- ① 国指定天然記念物 9か所
- ② 県指定天然記念物 23か所（近年の指定解除を含む）
- ③ 県指定自然記念物 15か所

(6) やまぐち周辺の植物さんぽ（中国地方編）

- ・山口県の周辺地域（島根県三瓶山、広島県八幡高原など）の貴重な植物や美しい景観を紹介

(7) 植物っておもしろいね！

- ・「屋久島・種子島（鹿児島県）」の植物、世界の植物（果実・種子）、なっとくんのやまぐち植物カルタ体験、なっとくんの緑の小話・緑のたより、植物関連本など

8 関連イベント（予定）

(1) 植物分野の教育普及講座（要事前申込）

- ・「植物標本をつくって調べよう！入門編」（5月31日（土））

(2) 植物に関するミニ体験（当日受付、不定期開催）

- ・「植物のふしぎ」などのミニ体験を、展示会場で当日先着順受付

(3) 「なっとくん」からの挑戦状2(クイズ)

- ・参加賞をプレゼント（数量限定）

9 問い合わせ先

山口県立山口博物館（担当：学芸課主任 杉江喜寿）

〒753-0073 山口市春日町8-2 TEL(083)922-0294

令和7年度 企画展 開催要項

1 タイトル

中世山口への海と道

2 開催期間

令和7年12月12日(金)～令和8年2月8日(日)

9:00～16:30 (入館は16:00まで)

月曜休館 (月曜が祝日の場合は火曜休館)、年末年始

3 会場

山口県立山口博物館 3階展示室 (体験展示室の奥)

4 主催者

山口県立山口博物館

5 観覧料

常設展観覧料に含まれます。

6 展覧会構成

プロローグ 映像

テーマ1 海をわたった獅子・狛犬

テーマ2 肥中街道

テーマ3 市・宿・港・関

エピローグ 映像

7 趣旨

本州の西端に位置する山口県は、日本海航路と瀬戸内海航路の分岐点に位置しています。周防・長門は、朝鮮半島や中国大陸、琉球と中世日本列島をつなぐ交流の窓口となっていました。

室町・戦国時代、西日本に覇を唱えた大内氏が朝鮮半島や中国大陸との貿易を主導し、莫大な利益を得ていたことは広く知られています。

発掘品や絵図などの歴史史料をもとに、中世山口への海と道を紹介し、大内文化を発展させた歴史の実態に迫ります。

常設展示 入館案内

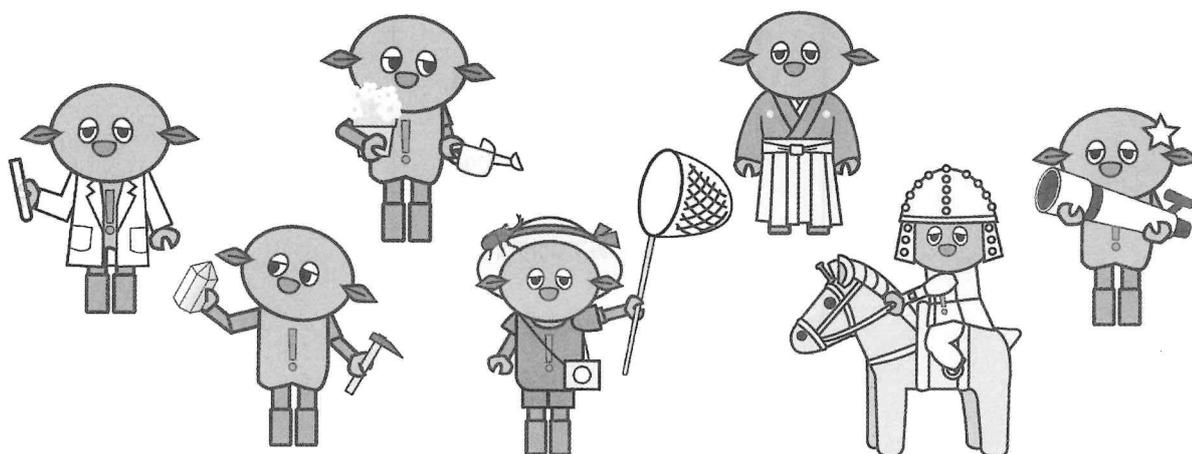
- 開館時間 9時～16時30分
(入館は16時まで)
- 閉館日 ① 月曜日(当日が祝日の場合は火曜日)
② 年末年始(12月28日～1月4日)
③ 全館停電日
④ 全館消毒日

常設展示観覧料

区分	個人	団体(20人以上)	※観覧料については、 令和7年4月1日以降の金額を掲載しています。
一般	200円	160円	
学生	130円	100円	
無料	(1) 生活保護を受けている者 (2) 身体障害者(身体障害者手帳の交付を受けている者)及びその介護人 (3) 戦傷病者(戦傷病者手帳の交付を受けている者)及びその介護人 (4) 高齢者(70歳以上の者) (5) 知的障害児者(療育手帳の交付を受けている者)及びその介護人 (6) 精神障害児者(精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者)及びその介護人 (7) 小・中・高の児童生徒の団体観覧の引率教員 (8) 教育・文化週間(11月1日～7日)期間中の全入館者 (9) こどもや子育てにやさしい休み方改革月間期間中のこども連れのグループ (10) 18歳以下の者及び高等学校、中等教育学校、総合支援学校(特別支援学校)等に在籍する児童生徒		

(特別展の場合は観覧料が変わります)

常設展示内容 天文・地学・植物・動物・考古・歴史・理工
 場 所 〒753-0073 山口市春日町8番2号
 (バス利用) 県庁前下車徒歩4分
 TEL (083) 922-0294
 FAX (083) 922-0353
 URL <https://www.yamahaku.pref.yamaguchi.lg.jp/>



発行 令和7年11月

発行者 山口県立山口博物館
山口市春日町8の2

☎ 083-922-0294

FAX 083-922-0353

印刷所 備いづみプリンティング



山口県立山口博物館
マスコットキャラクター
なっとくん